

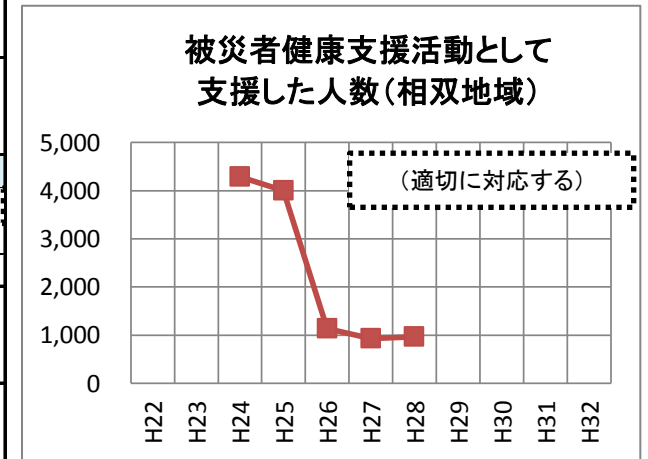
福島県相双地域保健医療福祉推進計画の指標の達成状況

資料2

①基本目標	1 復興へ向けた保健・医療・福祉の推進
②施策の方向	(1) 被災者の心身の健康支援 (2) 医療提供体制の再構築 (3) 安心できる子育て環境の整備 (4) 福祉サービス提供体制の整備 (5) 飲料水及び食品等の安全性の確保 (6) 保健・医療・福祉の連携体制の構築 (7) いわき市へ避難した管内住民への健康支援

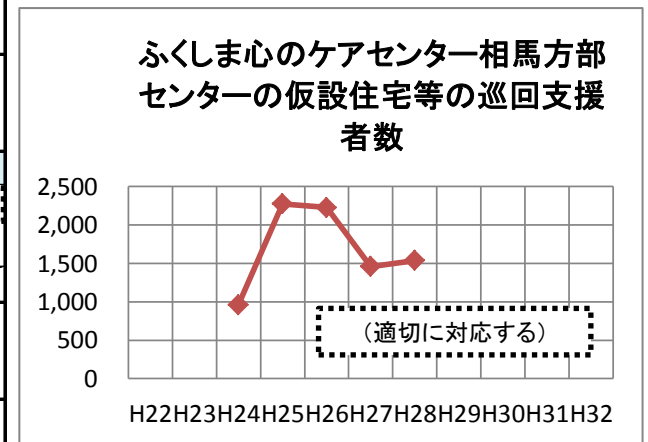
資料1 p1 (1)

③指標No.、名称	1 被災者健康支援活動として支援した人数(相双地域)	達成状況	モニタリング								
④指標の説明	管内市町村から依頼を受け、当所(本所)が、相双地域で健康支援活動を実施した延人数(年度合計)－相双保健福祉事務所調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標	(適切に対応する)										
実績											
達成状況	4,290 4,003 1,140 935 971 人										
⑥達成状況の分析又は現状分析	市町村からの訪問対象者をリスクの高いケースに絞っているため件数は減少しており、一方市町村の人的な体制が整わない専門的な健康教室、相談等の支援がやや増加した。										
⑦今後の課題	役場機能を移転した9町村のうち7町村が管内に帰還したが、住民の帰還状況にはまだ町村によって差があるため、継続的に支援する必要がある。また一方各町村での専門職の確保が進まないなどの体制整備も課題である。										



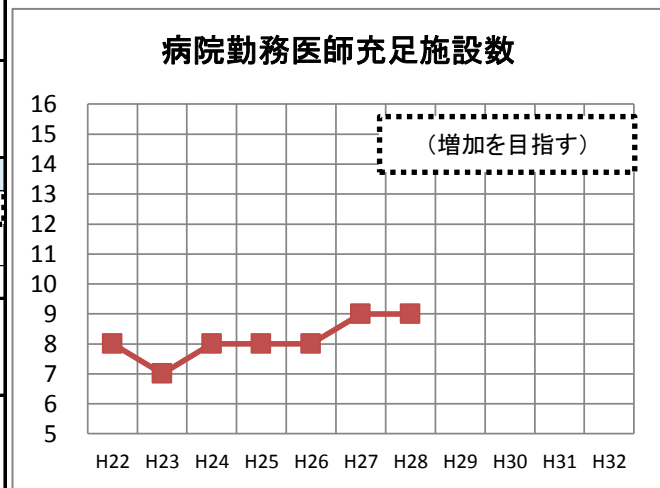
p1 (1)

③指標No.、名称	2 ふくしま心のケアセンター相馬方部センターの仮設住宅等の巡回支援者数	達成状況	モニタリング								
④指標の説明	ふくしま心のケアセンター相馬方部センター(県から事業受託)が、相馬方部内で訪問相談、集団指導での相談を実施した延人数(年度合計)－福島県障がい福祉課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標	(適切に対応する)										
実績	962 2,275 2,226 1,458 1,538 人										
達成状況											
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成27年度に組織改編があり、ケースの一部を市町村に移管したことにより相談対応件数が減少した。平成28年度は前年度に比べ相談対応件数が増加したが、適切に対応できた。										
⑦今後の課題	平成29年3月31日に避難指示が解除された浪江町及び飯舘村にも対応できる組織体制の強化が必要である。										



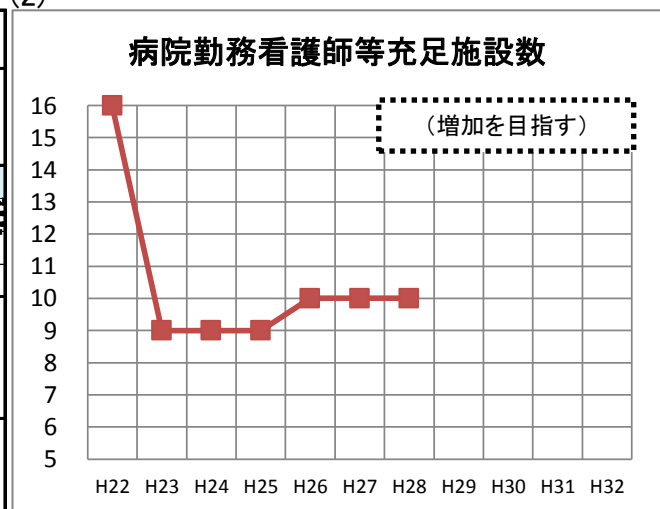
p2 (2)

③指標No.、名称	3 病院勤務医師充足施設数										達成状況	B	
④指標の説明	管内の病院を母数として、医療法で定める必要数を満たす病院数(当該年度立入検査実施時点)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
				(増加を目指す)									
実績	8	7	8	8	8	9	9	か所					
達成状況				B	B	A	B						
⑥達成状況の分析又は現状分析	医療法に定める必要数は満たしているものの、常勤医師の確保が困難となっている。												
⑦今後の課題	引き続き医師確保対策に取り組む必要がある。												



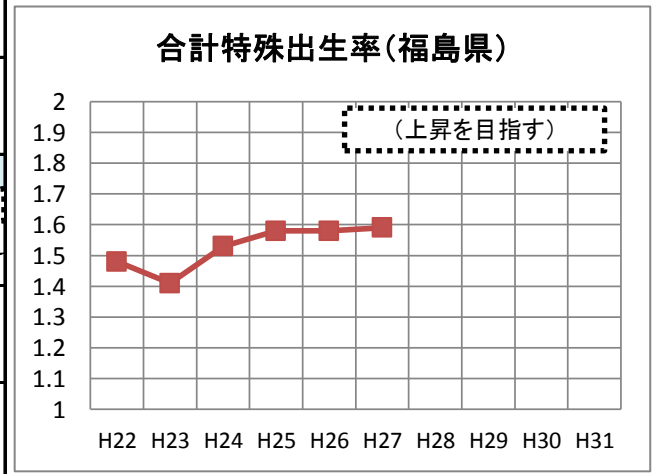
p2 (2)

③指標No.、名称	4 病院勤務看護師等充足施設数										達成状況	B	
④指標の説明	管内の病院を母数として、医療法に定める必要数を満たす病院数(当該年度立入検査実施時点)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
				(増加を目指す)									
実績	16	9	9	9	10	10	10	か所					
達成状況				B	A	B	B						
⑥達成状況の分析又は現状分析	震災前と比較して県内の他地域においては増加傾向にあるが、当地域においては依然として大きく減少している状況にある。												
⑦今後の課題	看護師の不足により稼働病床の制限を余儀なくされている病院もあり、引き続き看護師確保対策に取り組む必要がある。												

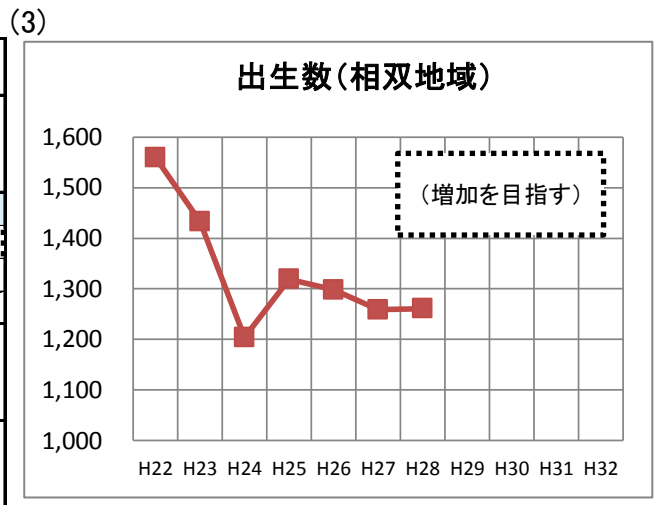


p4 (3)

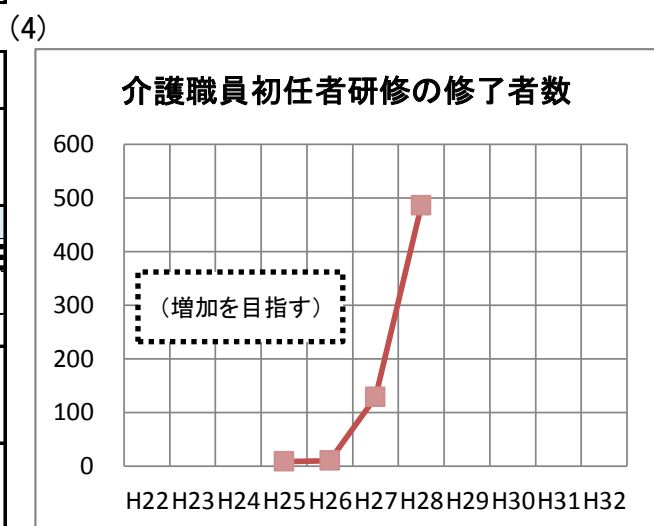
③指標No.、名称	5 合計特殊出生率(福島県)										達成状況	モニタリング	
④指標の説明	15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時の平均子ども数に相当する。一人口動態統計月報年計の概況(福島県)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
				(上昇を目指す)									
実績	1.51	1.48	1.41	1.53	1.58	1.58	1.59						
達成状況													
⑥達成状況の分析又は現状分析	18歳以下を対象にした医療費無料化、子育てや出産に関する電話相談、各自治体の出産祝い金など、出産支援、子育て支援の取組が奏功していると考えられる。												
⑦今後の課題	引き続き、子育てに伴う負担と不安を軽減するため、社会全体で子育てを支援する体制づくりを推進する必要がある。												



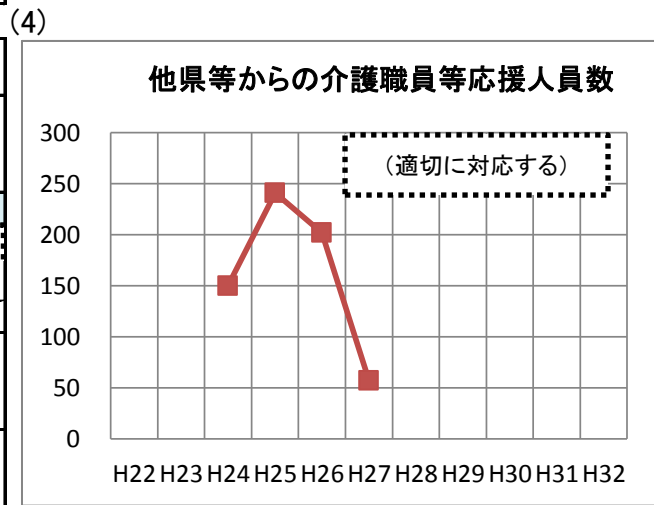
③指標No.、名称	【参考】 出生数(相双地域)										達成状況	p4 参考	
④指標の説明	管内の市町村に届け出られた「生まれた子どもの数」(年合計)－人口動態統計(確定数)の概況(福島県)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	(増加を目指す)												
実績	1,560	1,433	1,204	1,319	1,298	1,259	1,261	人					
達成状況													
⑥達成状況の分析又は現状分析	前年とほぼ同数となっている。合計特殊出生率は増加傾向にあるものの、出産可能な年齢層の女性の人数が減少傾向にあり、これに比例して出生数も減少していくと考えられる。												
⑦今後の課題	子育てに伴う負担と不安を軽減するために社会全体で子育てを支援する体制づくりを推進する必要がある。												



③指標No.、名称	6 介護職員初任者研修の修了者数										達成状況	p5 モニタリング	
④指標の説明	管内の介護・福祉事業所から県に提出された介護職員初任者研修事業による研修修了者の数(年度合計)－福島県高齢福祉課調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	(増加を目指す)												
実績				8	10	128	486	人					
達成状況													
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成24年度まではホームヘルパー2級養成研修終了者数であったが、平成25年度から制度改正となり、「介護職員初任者研修」として実施している。制度変更により、施設での研修事業が増えたことに伴い、受講者数が増加した。												
⑦今後の課題	適切に研修を行い、修了者の増加とともに管内への定着化を図る必要がある。												

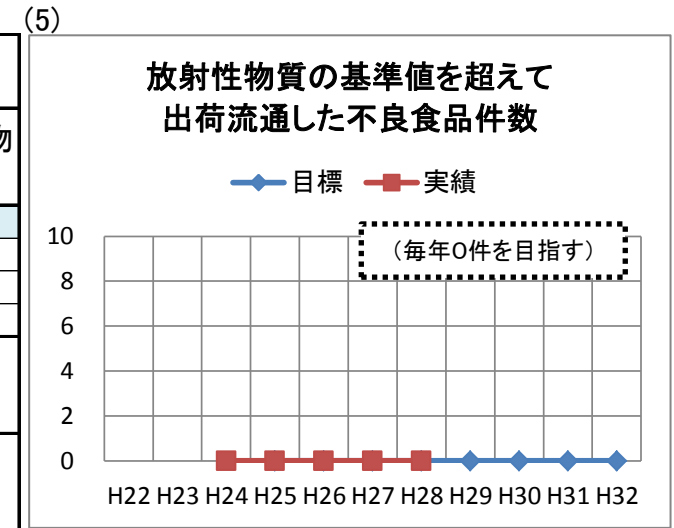


③指標No.、名称	7 他県等からの介護職員等応援人員数										達成状況	p5 モニタリング	
④指標の説明	県外から管内の介護事業所に応援に来た介護職員の延人数(年度合計)－福島県相双地域等福祉人材確保対策会議												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	(適切に対応する)												
実績			150	241	202	57	人						
達成状況													
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成27年度において、事業終了となった。												
⑦今後の課題	－												



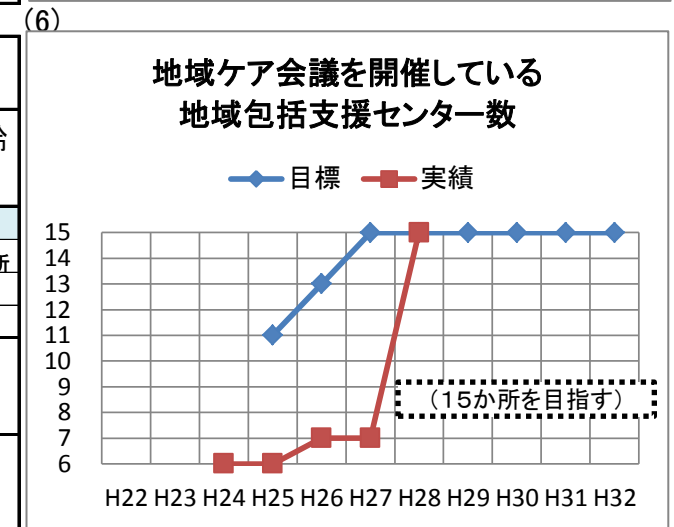
p6

③指標No.、名称	8 放射性物質の基準値を超えて出荷流通した不良食品件数										達成状況	A	
④指標の説明	管内で生産された農林水産物を原料とする加工食品及び管内で加工された広域流通食品等で、食品衛生法に基づく放射性物質の基準値を超えて出荷流通した違反食品の数(年度合計)－相双保健福祉事務所調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			0	0	0	0	0	0	0	0	0	件
	/			0	0	0	0	0	0	0	0		
⑥達成状況の分析又は現状分析	食品中の放射性物質が、食品衛生法上の基準値を超過して出荷、流通販売された不良食品は、発生していない。												
⑦今後の課題	引き続き、不良食品の発生の防止に努める必要がある。												



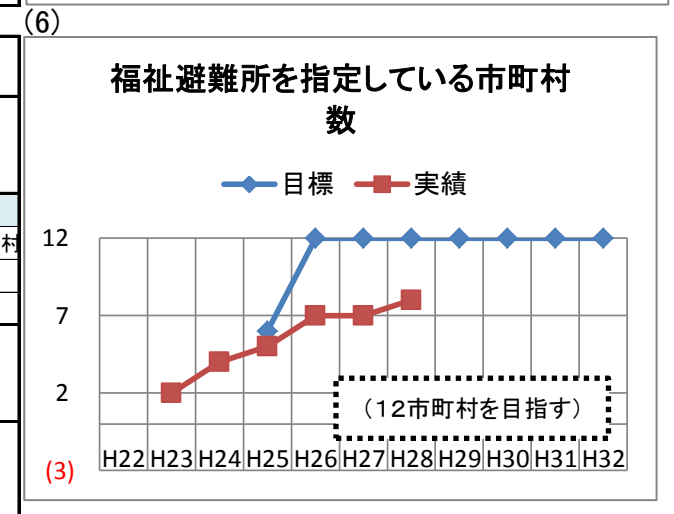
p7

③指標No.、名称	9 地域ケア会議を開催している地域包括支援センター数										達成状況	A	
④指標の説明	管内の市町村が設置する地域包括ケアセンターの内、地域ケア会議を開催しているセンターの数(年度末時点)－福島県高齢福祉課調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			11	13	15	15	15	15	15	15	15	か所
	/			6	6	7	7	15					
⑥達成状況の分析又は現状分析	全ての地域包括支援センターにおいて、地域ケア会議を開催している。												
⑦今後の課題	-												



p7

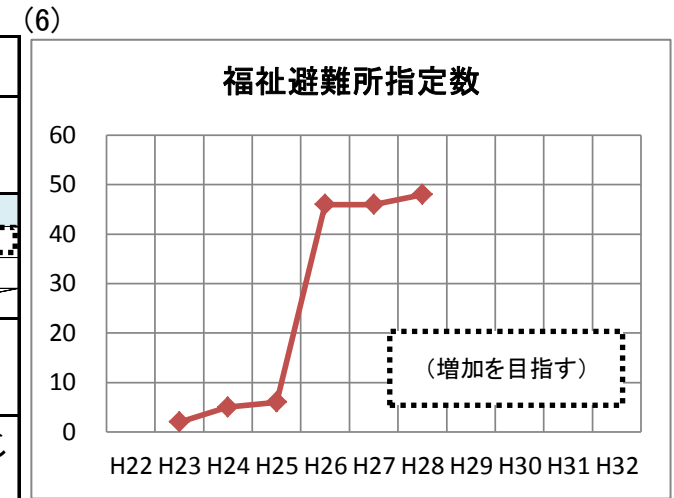
③指標No.、名称	10 福祉避難所を指定している市町村数										達成状況	B	
④指標の説明	管内市町村のうち、福祉避難所を指定している市町村数(年度末時点)－福島県保健福祉総務課調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			6	12	12	12	12	12	12	12	12	市町村
	/			5	7	7	8						
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成28年度は葛尾村で指定がなされた。未指定は避難4町となっている。												
⑦今後の課題	未指定市町村の意向に応じて、引き続き、情報提供等、指定に向けた支援を行っていく必要がある。												





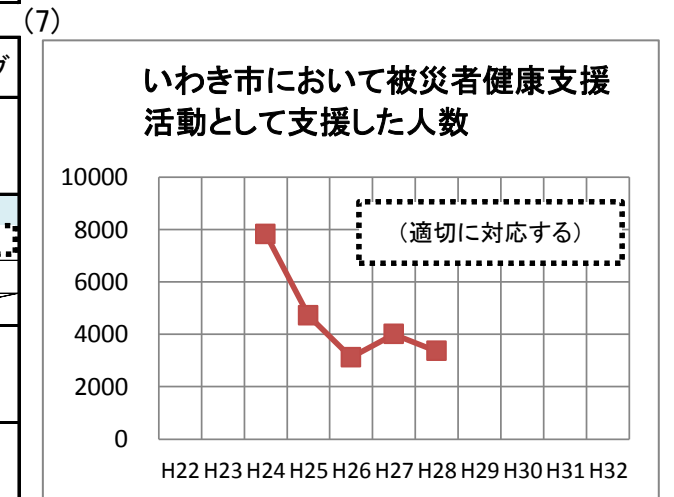
p7

③指標No.、名称	【参考】 福祉避難所指定数										達成状況	参考	
④指標の説明	管内市町村が指定した福祉避難所の数(年度末時点)－福島県保健福祉総務課調べ												
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
⑥達成状況の分析又は現状分析	2施設増加した(追加1、新規1)。												
⑦今後の課題	未指定市町村については、引き続き、情報提供等指定に向けた支援を行っていく。指定済町村については、対象者数等に応じた適切な数の指定がなされるよう促していく必要がある。												



p7

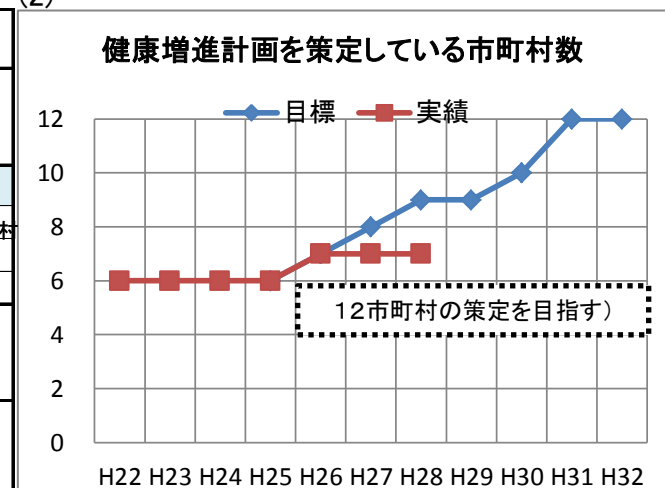
③指標No.、名称	11 いわき市において被災者健康支援活動として支援した人数										達成状況	モニタリング	
④指標の説明	管内市町村から依頼を受け、いわき出張所が、いわき地域で健康支援活動を実施した延人数(年度合計)－相双保健福祉事務所(いわき出張所)調べ												
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
⑥達成状況の分析又は現状分析	健康支援の対象者をリスクの高い高齢者や継続支援を要する者等に絞り込んでいるため、支援者数は減少している。												
⑦今後の課題	仮設住宅等から復興公営住宅に移行が進むことに伴い、同一の復興公営住宅入居者の健康支援において、格差が生じないよう避難元及び避難先市町村と調整する必要がある。												



①基本目標	2 生涯にわたる健康づくりの推進
②施策	(1) 被災者の心身の健康支援(再掲) (2) 心身の健康を維持、増進するための環境づくりの推進 (3) 生活習慣病を予防するための環境づくりの推進 (4) がん予防・医療の推進 (5) 高齢者の介護予防の推進 (6) 健全な食生活を育むための食育の推進 (7) 感染症対策の推進 (8) 歯科口腔保健の推進

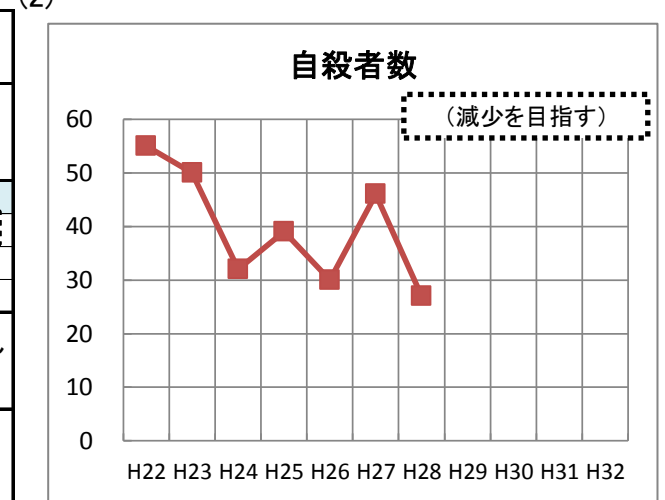
資料1 p10 (2)

③指標No.、名称	1 健康増進計画を策定している市町村数	達成状況	B								
④指標の説明	管内市町村のうち、健康増進計画を策定している市町村数(年度末時点)－福島県健康増進課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標				6	7	8	9	9	10	12	12
実績	6	6	6	6	7	7	7	市町村			
達成状況				A	A	B	B				
⑥達成状況の分析又は現状分析	市町村の要請に応じて計画策定支援をしており、未策定5町村中2町村については平成28年度から継続して計画づくりを進めている。										
⑦今後の課題	未策定町村への働きかけと策定への支援が必要である。										



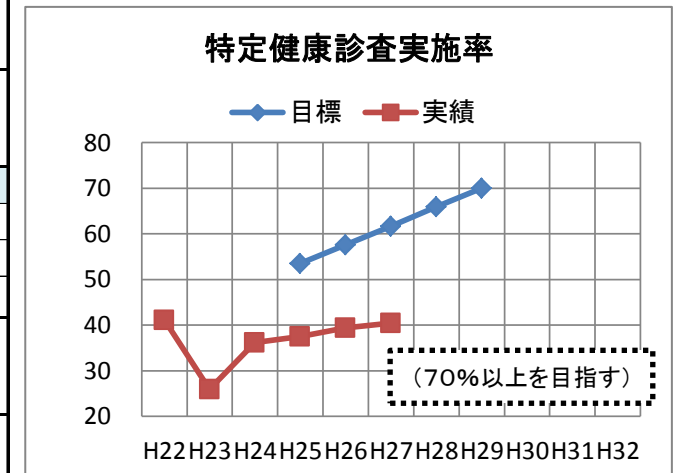
p10 (2)

③指標No.、名称	2 自殺者数	達成状況	A								
④指標の説明	管内市町村に住所地がある死亡者のうち、死因が自殺である者の数(年合計)－人口動態統計										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標				(減少を目指す)							
実績	55	50	32	39	30	46	27	人			
達成状況				B	A	B	A				
⑥達成状況の分析又は現状分析	市町村やこころのケアセンター等関係機関の自殺対策に関する取り組みにより、前年比41.4%の大幅な減少となったと推察される。										
⑦今後の課題	引き続き自殺対策を講じ、さらなる減少を目指していく必要がある。										



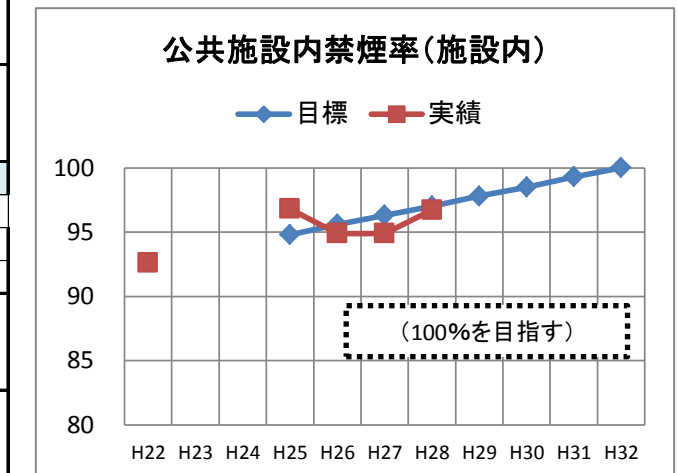
p12 (3)

③指標No.、名称	3 特定健康診査実施率										達成状況	B	
④指標の説明	管内に住所があり市町村国保に加入する40歳から74歳までの特定健康診査対象者を母数として、保険者(市町村)が特定健康診査を実施した比率(年度末現在)－福島県生活習慣病検診等管理指導協議会												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			53.5	57.6	61.7	65.9	70.0	%以上				
	41.1	25.9	36.2	37.5	39.4	40.4	%						
⑥達成状況の分析又は現状分析	受診率は年々上昇しているものの、目標との差は大きい。市町村間30%台から60%台と格差がある。												
⑦今後の課題	引き続き受診率を上げるための対策が必要。												



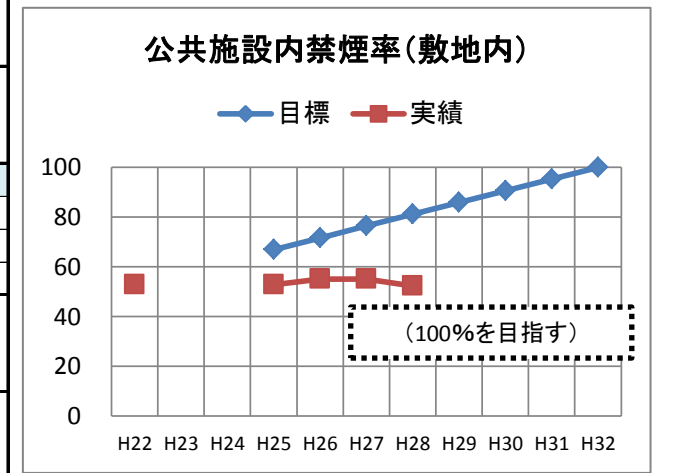
p12 (3)

③指標No.、名称	4-1 公共施設内禁煙率(施設内)										達成状況	B	
④指標の説明	管内の公共施設の内、施設内禁煙としている施設の比率(5月1日時点)－福島県健康増進課調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			94.8	95.6	96.3	97.0	97.8	98.5	99.3	100.0	%	
	92.6			96.8	94.9	94.9	96.7	%					
⑥達成状況の分析又は現状分析	※平成H23,24年度は震災により調査未実施。わずかだが目標には近づいている状況。												
⑦今後の課題	引き続き施設内禁煙を推進する必要がある。												



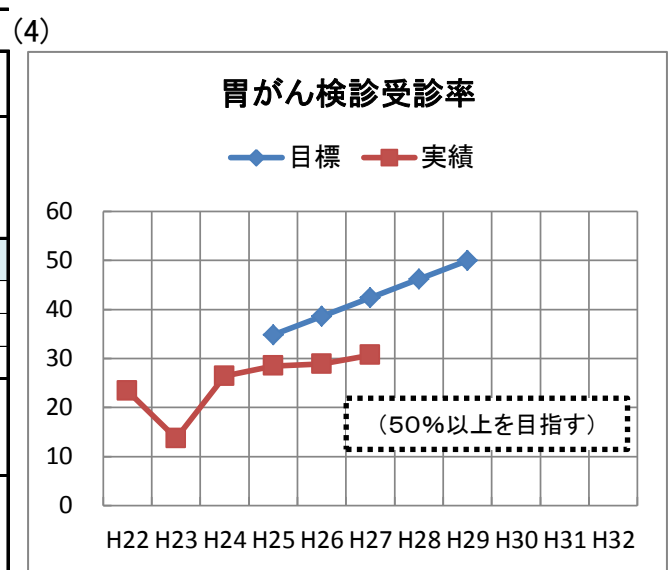
p12 (3)

③指標No.、名称	4-2 公共施設内禁煙率(敷地内)										達成状況	B	
④指標の説明	管内の公共施設の内、敷地内禁煙としている施設の比率(5月1日時点)－福島県健康増進課調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			67.0	71.7	76.5	81.2	85.9	90.6	95.3	100	%	
	52.9			52.9	55.1	55.1	52.4	%					
⑥達成状況の分析又は現状分析	※平成23,24年度は震災により調査未実施。市町村役場での取組みが少ないため実施率へ影響している。												
⑦今後の課題	官公庁の敷地内禁煙の推進を図る必要がある。												



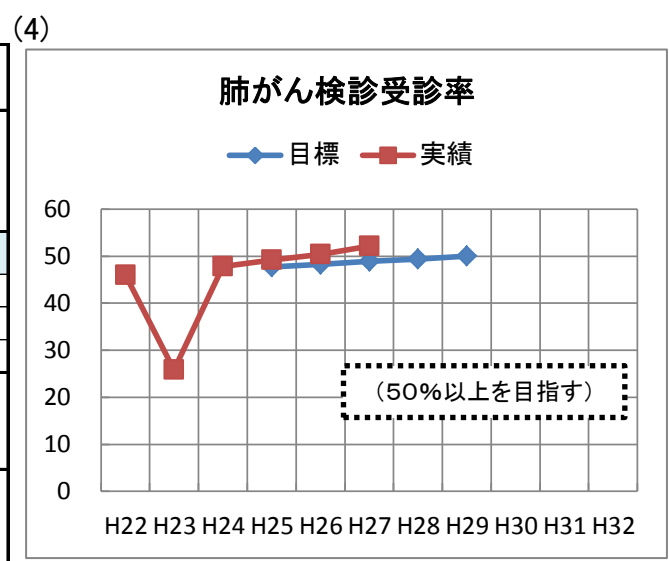
p13 (4)

③指標No.、名称	5-1 胃がん検診受診率										達成状況	B	
④指標の説明	直近の国勢調査結果を基にした市町村毎の推計対象者数を母数として、管内市町村が実施する「がん検診」を受診した者(40～69歳を対象とした)の比率(年度末時点)－福島県健康増進課調べ ※推計対象者数＝市町村人口－(就業者数－農林水産業従事者数)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			34.8	38.6	42.4	46.2	50.0	%以上				
	23.4	13.7	26.4	28.5	28.9	% 30.7	%						
達成状況	/			B	B	B							
⑥達成状況の分析又は現状分析	年々わずかに上昇しているが、目標には到達していない状況。震災による広域避難の影響と施設健診受け入れ体制の問題と推察される。												
⑦今後の課題	受診機会拡大措置が必要である。												



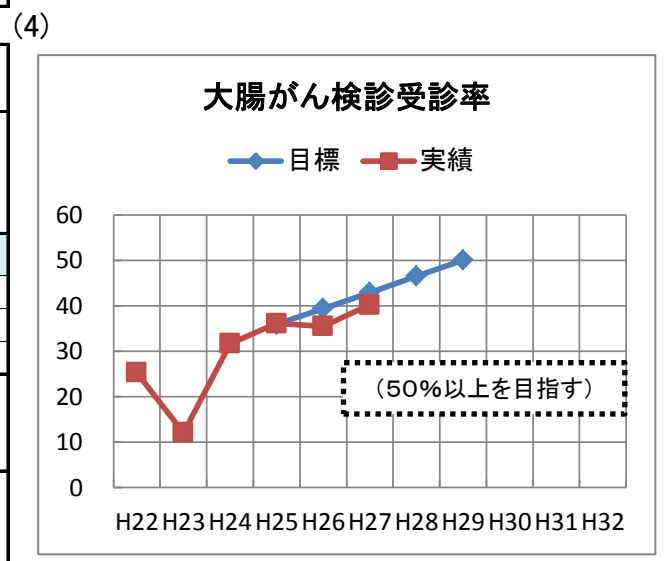
p13 (4)

③指標No.、名称	5-2 肺がん検診受診率										達成状況	A	
④指標の説明	直近の国勢調査結果を基にした市町村毎の推計対象者数を母数として、管内市町村が実施する「がん検診」を受診した者(40～69歳を対象とした)の比率(年度末時点)－福島県健康増進課調べ ※推計対象者数＝市町村人口－(就業者数－農林水産業従事者数)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			47.7	48.3	48.9	49.4	50.0	%以上				
	46.0	25.8	47.8	49.2	50.4	52.1	%						
達成状況	/			A	A	A							
⑥達成状況の分析又は現状分析	受診率は年々増加し、3年連続で目標を達成している。肺がん検診が浸透してきていると推察される。												
⑦今後の課題	受診率の低下を来さないよう受診機会の確保を図る必要がある。												



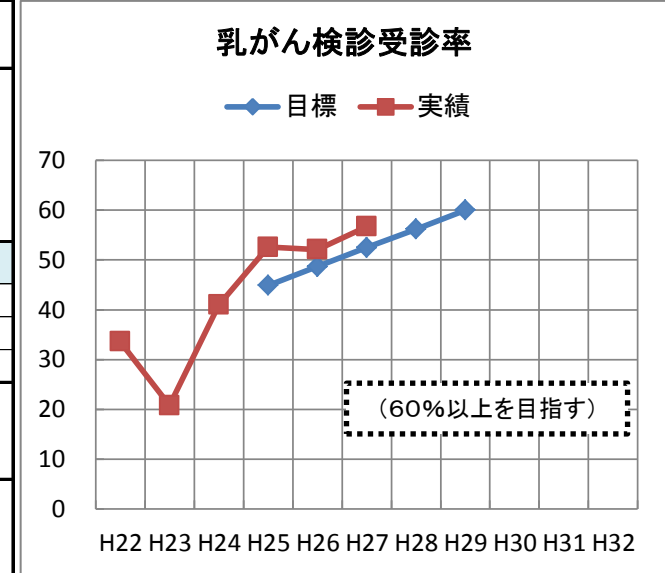
p13 (4)

③指標No.、名称	5-3 大腸がん検診受診率										達成状況	B	
④指標の説明	直近の国勢調査結果を基にした市町村毎の推計対象者数を母数として、管内市町村が実施する「がん検診」を受診した者(40～69歳を対象とした)の比率(年度末時点)－福島県健康増進課調べ ※推計対象者数＝市町村人口－(就業者数－農林水産業従事者数)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			35.9	39.4	42.9	46.5	50.0	%以上				
	25.3	12.1	31.7	36.1	35.5	40.2	%						
達成状況	/			A	B	B							
⑥達成状況の分析又は現状分析	受診率は26年度に比較し4.7ポイント増加したが、目標には到達していない。震災による広域避難の影響と大腸がん検診の必要性が浸透していないことも影響していると推察される。												
⑦今後の課題	大腸がん検診の受診拡大に向けた取組を推進していく必要がある。												

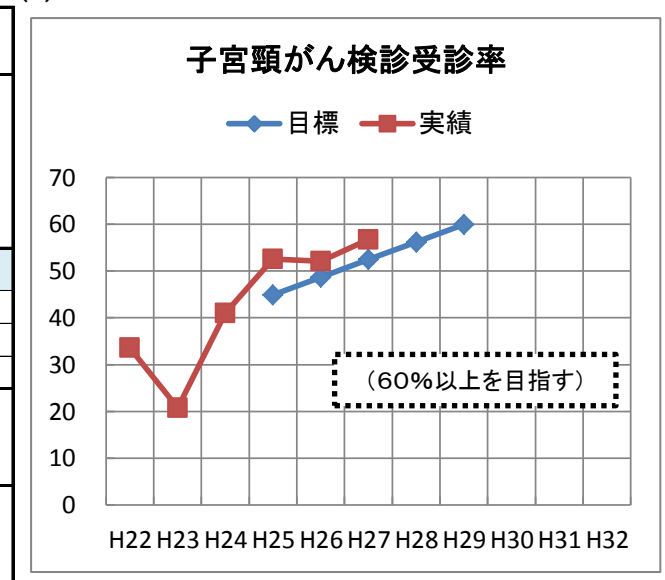




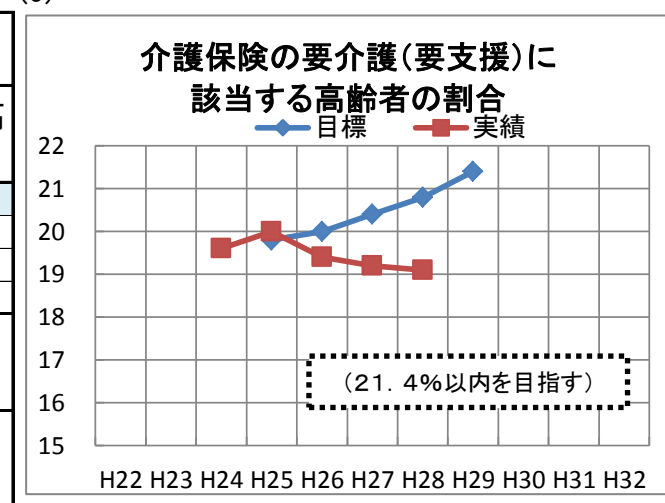
③指標No.、名称	5-4 乳がん検診受診率										達成状況	A	
④指標の説明	直近の国勢調査結果を基にした市町村毎の推計対象者数を母数として、管内市町村が実施する「がん検診」を受診した者(40～69歳を対象とした)の比率(年度末時点)－福島県健康増進課調べ ※推計対象者数＝市町村人口－(就業者数－農林水産業従事者数) ※受診率＝(当該年度受診者数＋前年度受診者数－2年連続受診者数)÷推計対象者数												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	目標			44.9	48.7	52.5	56.2	60.0	%以上				
	実績			52.6	52.1	56.7	%						
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成26年度に比較し、4.6ポイント増加しており、3年連続で目標に達している。乳がん検診が浸透していると推察される。												
⑦今後の課題	受診率の低下を来さないよう、受診機会の確保を図る必要がある。												



③指標No.、名称	5-5 子宮頸がん検診受診率										達成状況	A	
④指標の説明	直近の国勢調査結果を基にした市町村毎の推計対象者数を母数として、管内市町村が実施する「がん検診」を受診した者(20～69歳を対象とした)の比率(年度末時点)－福島県健康増進課調べ ※推計対象者数＝市町村人口－(就業者数－農林水産業従事者数) ※受診率＝(当該年度受診者数＋前年度受診者数－2年連続受診者数)÷推計対象者数												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	目標			48.3	51.2	54.1	57.1	60.0	%以上				
	実績			53.4	55.3	55.4	%						
⑥達成状況の分析又は現状分析	年々わずかに上昇し、目標を上回っている。子宮がん検診が浸透していると推察される。												
⑦今後の課題	受診率の低下を来さないよう、受診機会の確保を図る必要がある。												

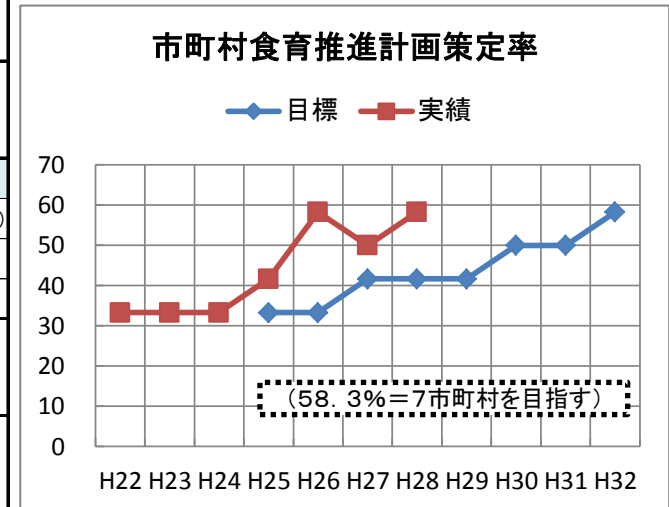


③指標No.、名称	6 介護保険の要介護(要支援)に該当する高齢者の割合										達成状況	A	
④指標の説明	管内に住所のある者を母数とした介護保険第一号被保険者の要介護(要支援)認定者の比率(年度末時点)－第七次福島県高齢者福祉計画・第六次福島県介護保険事業支援計画												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	目標			19.8	20.0	20.4	20.8	21.4	%以内				
	実績			19.6	20.0	19.4	19.2	19.1	%				
⑥達成状況の分析又は現状分析	各市町村において介護予防事業等が効果的に実施され、認定者の比率が減少傾向にある。												
⑦今後の課題	今後も引き続き、各市町村における介護予防事業等を効果的に実施し、また、自立支援型地域ケアの開催を支援しながら、数値の低下に取り組む必要がある。												



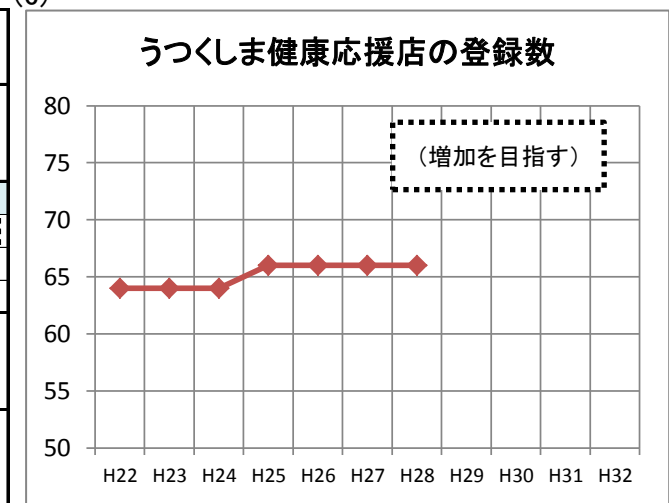
p14 (6)

③指標No.、名称	7 市町村食育推進計画策定率										達成状況	A	
④指標の説明	管内市町村のうち、食育推進計画を策定している市町村の比率(年度末時点)－福島県健康増進課調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			33.3	33.3	41.7	41.7	41.7	50.0	50.0	58.3%(7市町村)		
	/			33.3	33.3	41.7	58.3	50.0	58.3	% (7市町村)			
⑥達成状況の分析又は現状分析	市町村の要請に応じて計画策定支援をしている。												
⑦今後の課題	未策定市町村への働きかけと策定支援が必要である。												



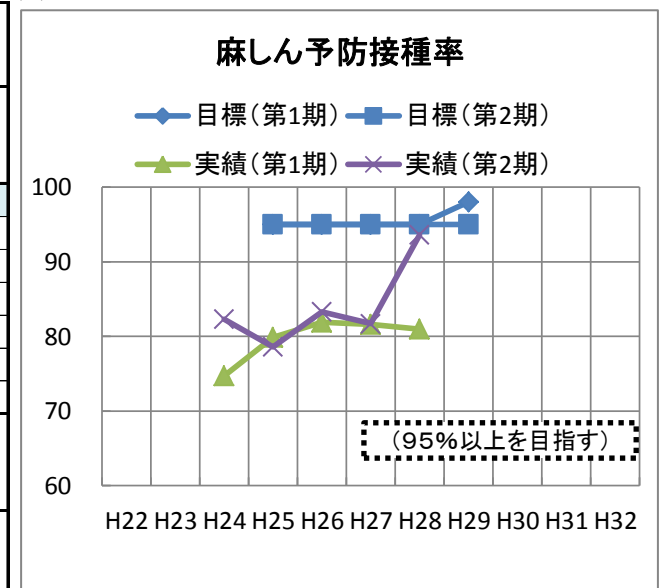
p14 (6)

③指標No.、名称	8 うつくしま健康応援店の登録数										達成状況	B		
④指標の説明	管内の「うつくしま健康応援店」の登録数(年度末時点)－福島県健康増進課調べ													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/			66	66	66	66	(増加を目指す)						
	/			64	64	64	66	66	66	66	店			
⑥達成状況の分析又は現状分析	震災以降登録店と連携した事業を実施しており、登録数は横ばいである。													
⑦今後の課題	新規登録数の増加に向けた働きかけが必要である。													

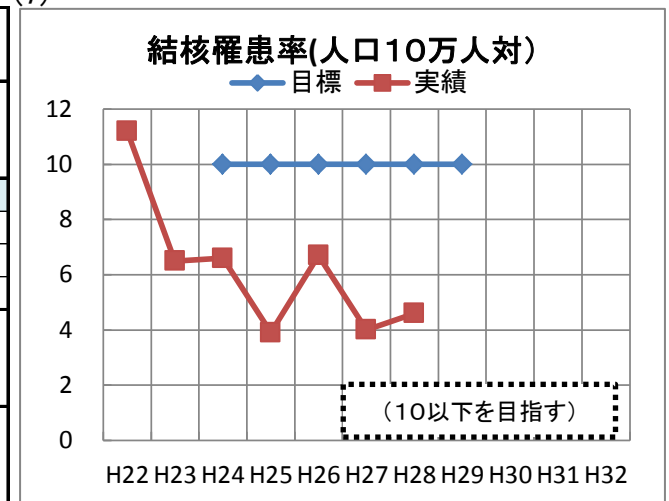


p15 (7)

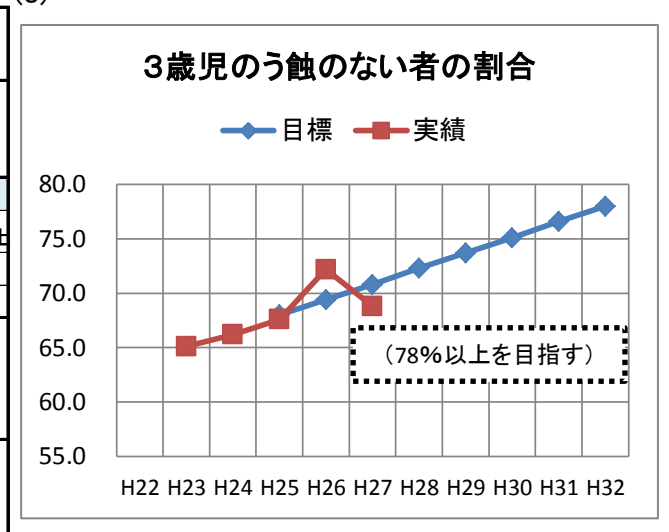
③指標No.、名称	9 麻しん予防接種率										達成状況	B		
④指標の説明	予防接種法に基づく対象年齢層における管内に住所のある者の予防接種率－厚生労働省麻しんワクチン予防接種実態調査													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/			95.0	95.0	95.0	95.0	98.0	%以上					
	/			95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	%以上					
	/			74.7	79.9	81.9	81.6	81.0	%					
	/			82.3	78.6	83.3	81.7	93.6	%					
	/			B	B	B	B		%					
⑥達成状況の分析又は現状分析	各市町村では多くの住民が県外へ避難しており、避難先での接種状況を把握することができた実績値である。													
⑦今後の課題	本庁・避難先市町村との連携により、避難者の接種状況を把握するとともに、予防接種の受けやすい環境づくりを市町村に対し積極的に働きかける必要がある。													



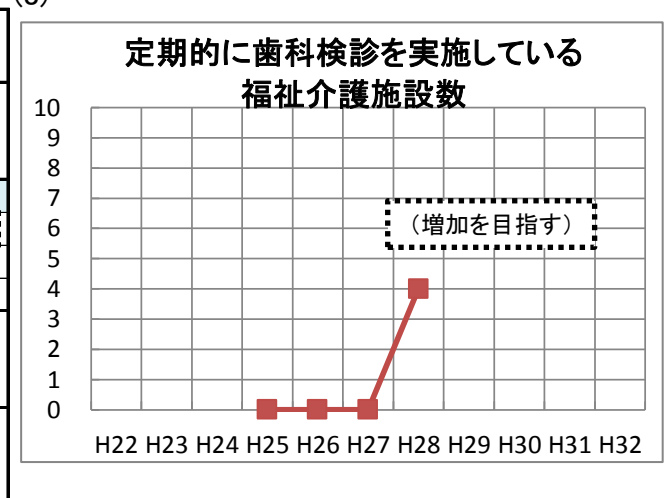
③指標No.、名称	10 結核罹患率(人口10万人対)										達成状況	A		
④指標の説明	1月1日から12月31日の1年間に新たに発生した患者の人口(管内に住所のある10月1日現在人口)10万人に対する比率—福島県結核予防計画													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/		10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	以下				
	11.2	6.5	6.6	3.9	6.7	4.0	4.6							
⑥達成状況の分析又は現状分析	罹患率は、目標値及び県の罹患率より低い数値で推移している。													
⑦今後の課題	復興作業従事者からの結核発生の増加に対し、引き続き労働基準監督署及び事業所との連携により、結核の予防、早期発見・早期治療等の対策を行っていく必要がある。													



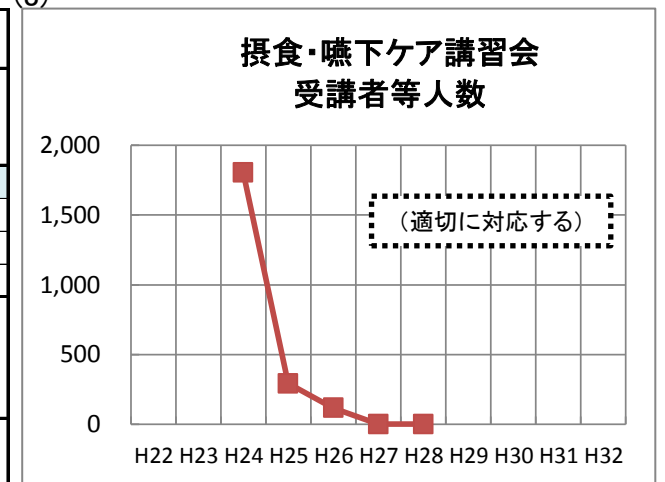
③指標No.、名称	11 3歳児のう蝕のない者の割合										達成状況	B		
④指標の説明	管内に住所のある3歳児を母数としたう蝕のない者の比率(年度末時点)—母子保健事業実績													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/		65.1	66.2	67.6	72.2	68.8	%						
	/				B	A	B							
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成26年に比較して平成27年は4.4ポイント下がったが、震災直後からは全体に改善傾向にある。													
⑦今後の課題	引き続き市町村とともにう蝕予防のための情報提供や検討会を継続する必要がある。													



③指標No.、名称	12 定期的に歯科検診を実施している福祉介護施設数										達成状況	-			
④指標の説明	管内で定期的に歯科検診を実施している福祉介護施設の数(調査日時点)※管外に避難中の施設は除く。—相双保健福祉事務所調べ														
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32				
	/				調査未実施	0	調査未実施	4	か所						
	/														
⑥達成状況の分析又は現状分析	前回調査では0カ所だったが、4カ所に増加した。福祉施設における口腔ケアの必要性が浸透しているものと推察する。														
⑦今後の課題	不定期に歯科検診を実施している施設や、定期的歯科検診の実施を検討している施設も増えている。定期的歯科検診の実施につながるよう、関係機関に働きかけを行う必要がある。														



③指標No.、名称	13 摂食・嚥下ケア講習会受講者等人数	達成状況	-								
④指標の説明	当所が実施する摂食・嚥下ケア講習会の受講者数(年度合計)－相双保健福祉事務所調べ										
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			1,806	291	117	0	0	人			
⑥達成状況の分析 又は現状分析	当該事業は平成26年度で終了している。個別の依頼に応じて実施することとしている。										
⑦今後の課題	高齢者施設等における摂食嚥下ケアの実情をモニタリングしつつ、必要に応じて、事業再開を検討する必要がある。										

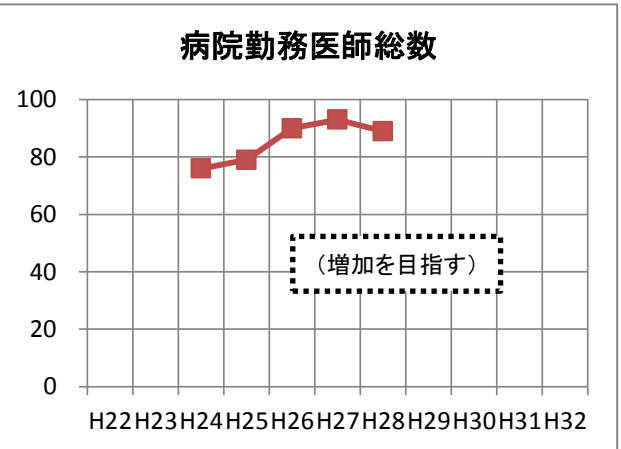




①基本目標	3 地域医療の再生
②施策	(1) 医療提供体制の再構築(再掲) (2) 医師、看護師等の確保と資質の向上 (3) 安全、安心な医療サービスの確保 (4) 血液の確保と医薬品の有効性・安全性の確保 (5) 難病対策の推進

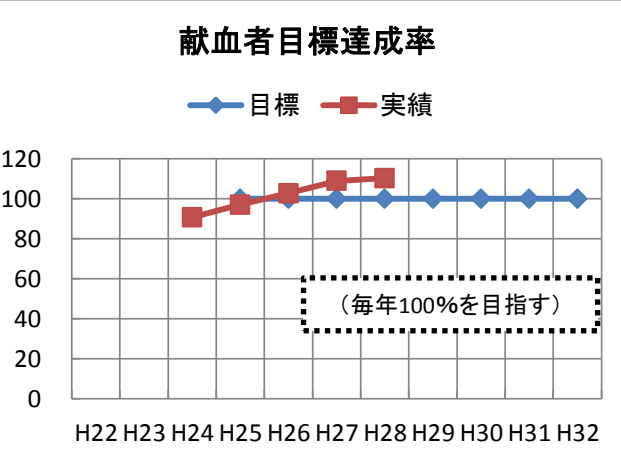
資料1 p17 (2)

③指標No.、名称	1 病院勤務医師総数	達成状況	B									
④指標の説明	管内の稼働している病院に勤務する常勤医師の数(当該年度の翌4月1日時点)－相双保健福祉事務所調べ											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	(増加を目指す)											
	目標											
実績												
達成状況	76 79 90 93 89 人 A A A B											
⑥達成状況の分析又は現状分析	震災前の水準に戻りつつはあるものの、小児科、産婦人科等の医師が不足している。											
⑦今後の課題	必要な医療が提供されるよう引き続き医師確保に努める必要がある。											



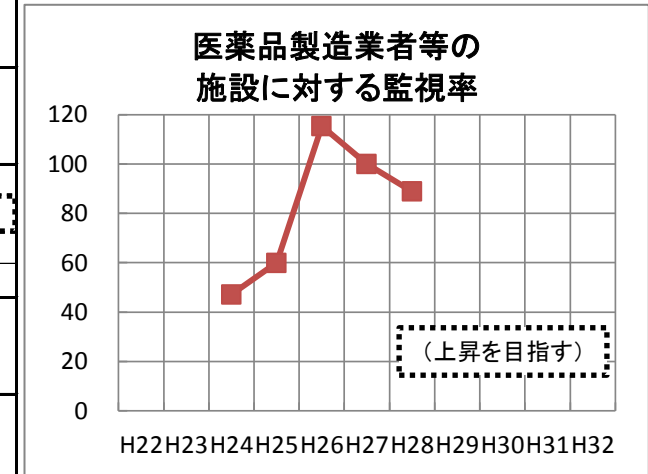
p19 (4)

③指標No.、名称	2 献血者目標達成率	達成状況	A									
④指標の説明	毎年度設定する相馬地区の献血目標値に対する献血達成率(年度末時点)※双葉地区は目標値が定められていない。－福島県薬務課調べ											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	(毎年100%を目指す)											
	目標	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 %										
実績	90.7 97.0 102.8 109.0 110.4											
達成状況	B A A A											
⑥達成状況の分析又は現状分析	献血量の目標量897.2Lに対し990.4L、献血の目安人数2,310人の対して、2,526人であった。											
⑦今後の課題	10代、20代の若年層に対する献血の重要性について普及啓発を図る必要がある。											



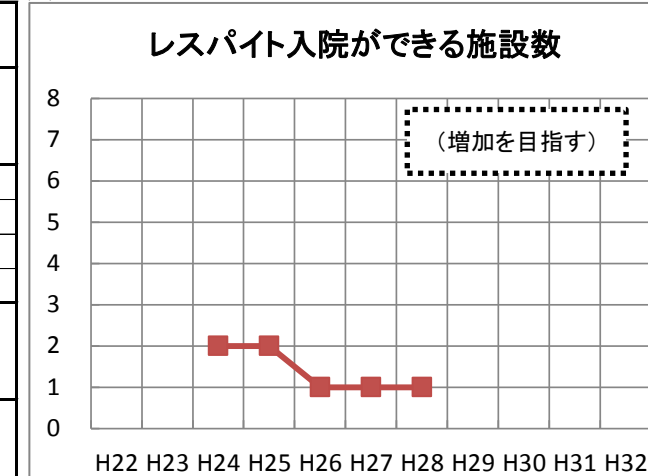
p19 (4)

③指標No.、名称	3 医薬品製造業者等の施設に対する監視率						達成状況	B			
④指標の説明	管内の医薬品製造業者等の施設に対して、当所が薬事監視を実施した比率(年度末時点)－福島県薬務課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	(実績)			(上昇を目指す)							
	47.1			60.0	115.3	100.0	88.9	%			
⑥達成状況の分析又は現状分析	製造業者等9施設に対して監視指導を8回実施した。										
⑦今後の課題	今後とも監視指導を強化し、適正な県民医療の確保に努める必要がある。										



p20 (5)

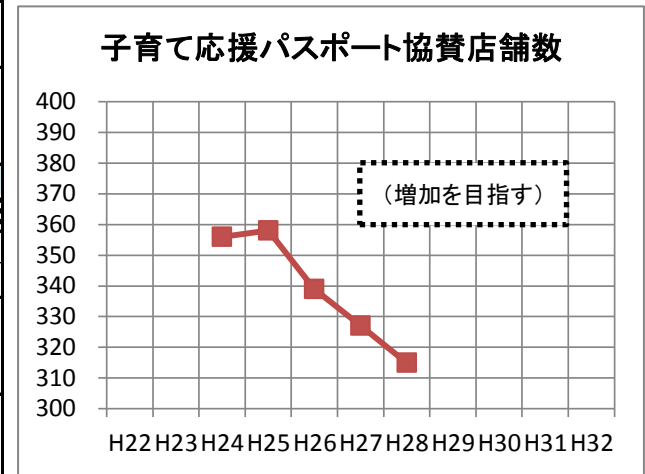
③指標No.、名称	4 レスパイト入院ができる施設数(介護者の病気・疲労等に伴う入院)						達成状況	B			
④指標の説明	管内の医療機関の内、難病患者のレスパイト入院ができる施設の数(調査日時点)－福島県健康増進課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	(実績)			(増加を目指す)							
	2			2	1	1	1	か所			
⑥達成状況の分析又は現状分析	双葉地域の医療機関の多くが休止中であり、また、病床に空きが無い等、医療機関の受入体制が整っていない。										
⑦今後の課題	相双地域の医療体制整備と並行して、難病患者の支援について関係機関と調整していく必要がある。										



①基本目標	4 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
②施策	(1) 安心できる子育て環境の整備(再掲) (2) 社会全体で子育てを支援する仕組みの構築 (3) 子どもの健全育成のための環境づくりの推進 (4) 子育て家庭の経済的支援 (5) 援助を必要とする子どもや家庭への支援 (6) 妊娠・出産・育児の一連において充実した保健・医療体制の確保 (7) 次代の親を育成するための環境づくりの推進

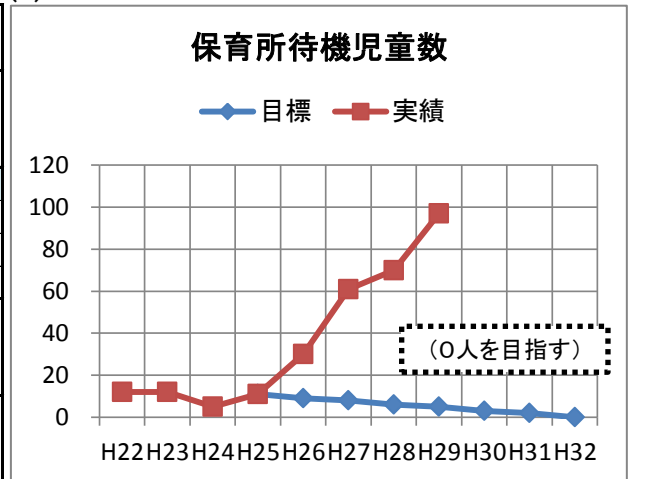
資料1 p22 (2)

③指標No.、名称	1 子育て応援パスポート協賛店舗数	達成状況	B								
④指標の説明	管内の子育て応援パスポート協賛店舗の数(4月1日時点)－福島県こども・青少年政策課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標											
実績			356	358	339	327	315				
達成状況				A	B	B	B				
⑥達成状況の分析又は現状分析	協賛中止や廃業した店舗があり、減少傾向にある。										
⑦今後の課題	広報の仕方を工夫する等、協賛店舗数の増加に努める必要がある。										

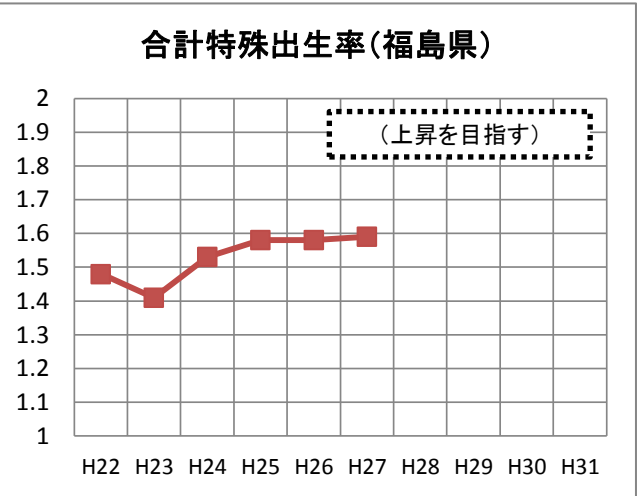


p22 (2)

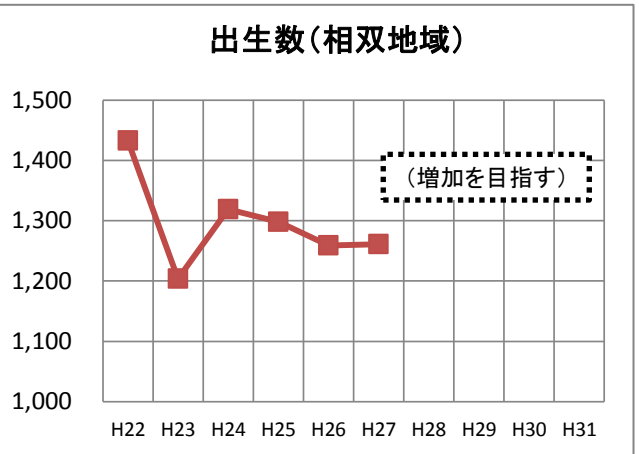
③指標No.、名称	2 保育所入所待機児童数	達成状況	B								
④指標の説明	管内で保育所への入所を待機している児童の数(4月1日時点)－保育所等利用待機児童数調査										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標				11	9	8	6	5	3	2	0人
実績	12	12	5	11	30	61	70	97			
達成状況					B	B	B	B			
⑥達成状況の分析又は現状分析	保育料を無料化している市において待機児童が著しく増加していることが原因と考えられる。										
⑦今後の課題	保育の実施主体である市町村において、保育の需要を適切に把握しその受け皿確保が着実に進むよう、県でできる支援を行っていく必要がある。										



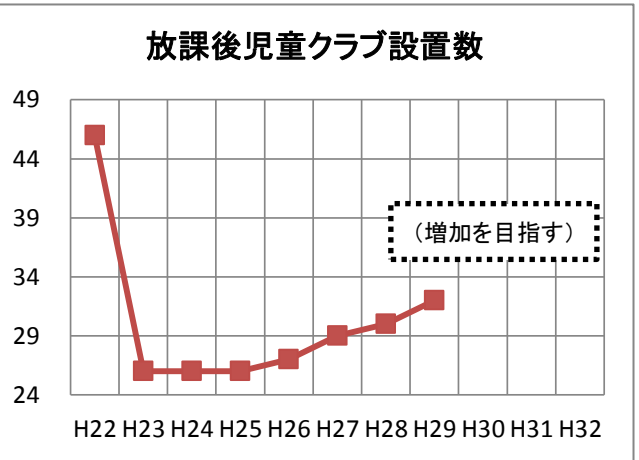
③指標No.、名称	3 合計特殊出生率(福島県)【再掲】										達成状況	モニタリング	
④指標の説明	15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時の平均子ども数に相当する。ー人口動態統計月報年計の概況(福島県)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	(上昇を目指す)												
実績	1.51	1.48	1.41	1.53	1.58	1.58	1.59						
達成状況													
⑥達成状況の分析又は現状分析	18歳以下を対象にした医療費無料化、子育てや出産に関する電話相談、各自治体の出産祝い金など、出産支援、子育て支援の取組が奏功していると考えられる。												
⑦今後の課題	引き続き、子育てに伴う負担と不安を軽減するため、社会全体で子育てを支援する体制づくりを推進する必要がある。												



③指標No.、名称	【参考】 出生数(相双地域)【再掲】										達成状況	参考	
④指標の説明	管内の市町村に届け出られた「生まれた子どもの数」(年合計)ー人口動態統計(確定数)の概況(福島県)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	(増加を目指す)												
実績	1,560	1,433	1,204	1,319	1,298	1,259	1,261	人					
達成状況													
⑥達成状況の分析又は現状分析	前年とほぼ同数となっている。合計特殊出生率は増加傾向にあるものの、出産可能な年齢層の女性の人数が減少傾向にあり、これに比例して出生数も減少していくと考えられる。												
⑦今後の課題	子育てに伴う負担と不安を軽減するために社会全体で子育てを支援する体制づくりを推進する必要がある。												

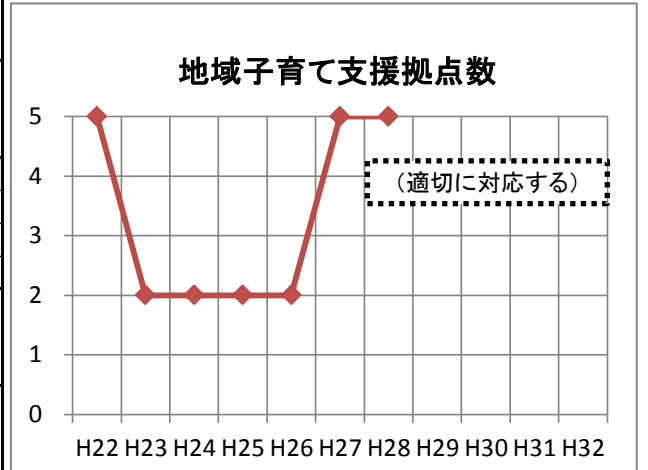


③指標No.、名称	4 放課後児童クラブ設置数										達成状況	A	
④指標の説明	管内の放課後児童クラブの設置数(5月1日時点)ー放課後児童健全育成事業の実施状況調査												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	(増加を目指す)												
実績	46	26	26	26	27	29	30	32	か所				
達成状況													
⑥達成状況の分析又は現状分析	利用ニーズの増加に伴い、設置数も増加傾向にある。												
⑦今後の課題	子育て環境の充実を図るため、利用ニーズ状況を見ながら、引き続き適切に対応していく必要がある。												

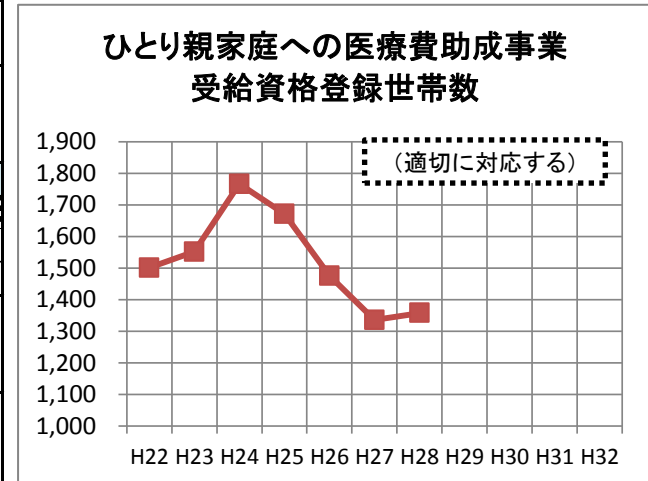




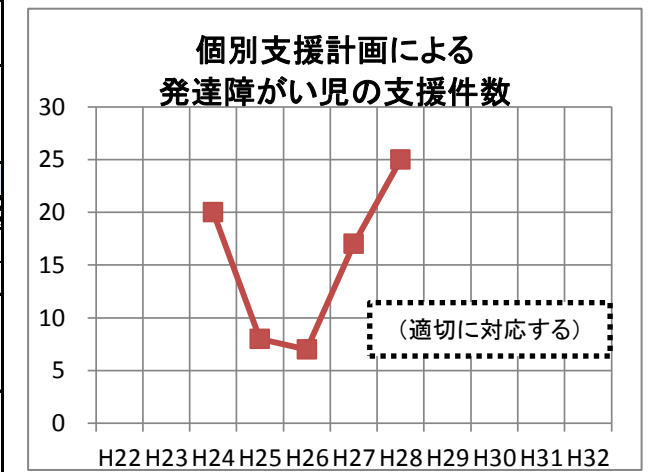
③指標No.、名称	5 地域子育て支援拠点数										達成状況	A	
④指標の説明	管内の地域子育て支援拠点数(3月31日時点)ー福島県子育て支援課調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
				(適切に対応する)									
実績	5	2	2	2	2	5	5						
達成状況				A	A	A	A	か所					
⑥達成状況の分析又は現状分析	子育て親子の交流や子育てに関する相談・情報提供を行う機会の提供が求められていることに伴い、設置数が増加している。												
⑦今後の課題	市町村子ども・子育て支援事業計画によりニーズを把握しながら、取り組みが進んでいない市町村に対し設置を促していく必要がある。												



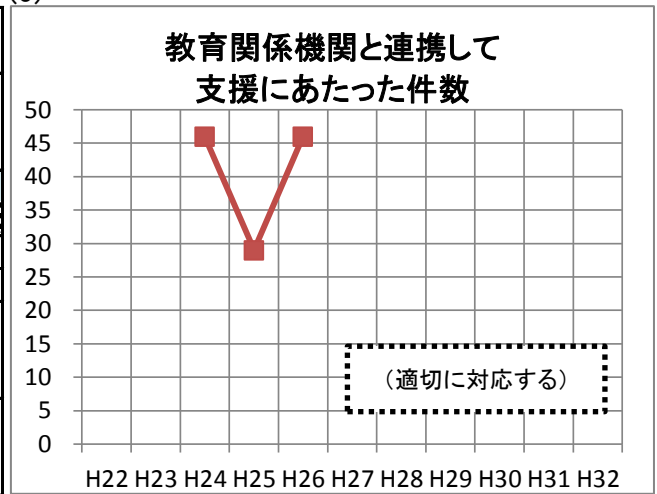
③指標No.、名称	6 ひとり親家庭への医療費助成事業受給資格登録世帯数										達成状況	モニタリング	
④指標の説明	管内市町村の「ひとり親家庭等医療費助成事業」の受給資格登録世帯数(原則6月1日時点)ー福島県児童家庭課調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
				(適切に対応する)									
実績	1,501	1,552	1,766	1,672	1,476	1,336	1,358						
達成状況								件					
⑥達成状況の分析又は現状分析	18歳以下医療費無料化等により減少傾向にあるが、登録数に著しい増減は見られない。												
⑦今後の課題	状況を見ながら、引き続き適切に対応していく必要がある。												



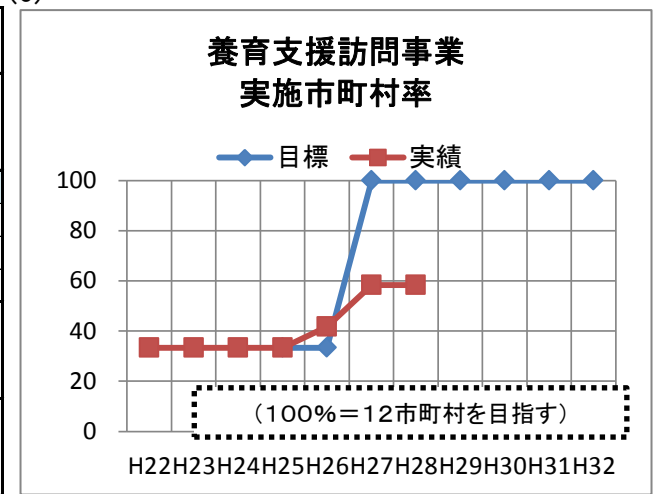
③指標No.、名称	7 個別支援計画による発達障がい児の支援件数										達成状況	モニタリング	
④指標の説明	管内で、福島県福祉事業協会(県から事業受託)が、発達障がい地域支援マネージャー事業により、市町村支援を実施した延件数(年度合計)ー発達障がい地域支援マネージャー事業実施状況報告書												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
				(適切に対応する)									
実績				20	8	7	17	25					
達成状況								件					
⑥達成状況の分析又は現状分析	市町村において本事業の認知度が高まり、支援の申し出が増加したことが支援件数の増加に繋がったものと思われる。												
⑦今後の課題	引き続き適切に対応するとともに、支援の内容について深化を図っていく必要がある。												



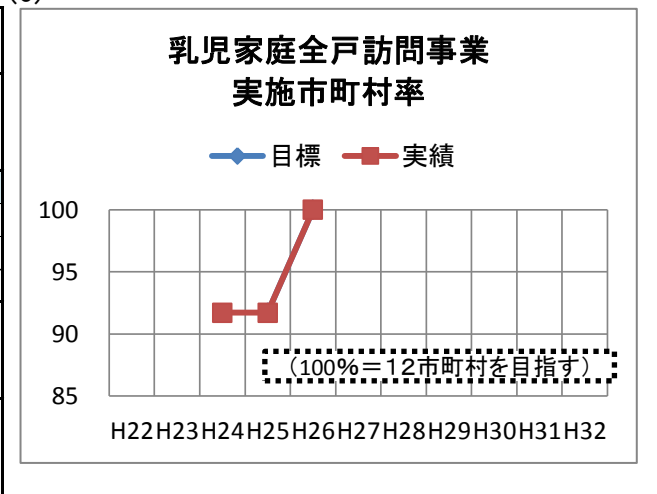
③指標No.、名称	8 教育関係機関と連携して支援にあたった件数										達成状況	モニタリング	
④指標の説明	管内で、福島県福祉事業協会(県から事業受託)が、発達障がい地域支援マネージャー事業により、市町村支援を実施した延件数(年度合計)－発達障がい地域支援マネージャー事業実施状況報告書												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	(適切に対応する)												
目標													
実績													
達成状況	46 29 46 件 件												
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成27年度から事業内容(事業名含む)が変更され、事業実施状況報告書から教育関係機関との連携支援件数が削除された。												
⑦今後の課題	-												



③指標No.、名称	9 養育支援訪問事業実施市町村率										達成状況	B	
④指標の説明	社会福祉法に基づく養育支援訪問事業開始届出があった管内市町村の比率(年度末時点)－事業開始届出												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	(100%=12市町村を目指す)												
目標													
実績	33.3	33.3	33.3	33.3	41.7	58.3	58.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%
達成状況	A A B B												
⑥達成状況の分析又は現状分析	12市町村中7市町村で事業を実施。未実施市町村は、既存の業務で対象者への支援を実施している状況にある。乳幼児家庭全戸訪問事業等により把握した要支援者に対する切れ目のない支援体制の構築のため本事業の実施が必要である。												
⑦今後の課題	未実施市町村に対し事業について周知し、実施を促す必要がある。												

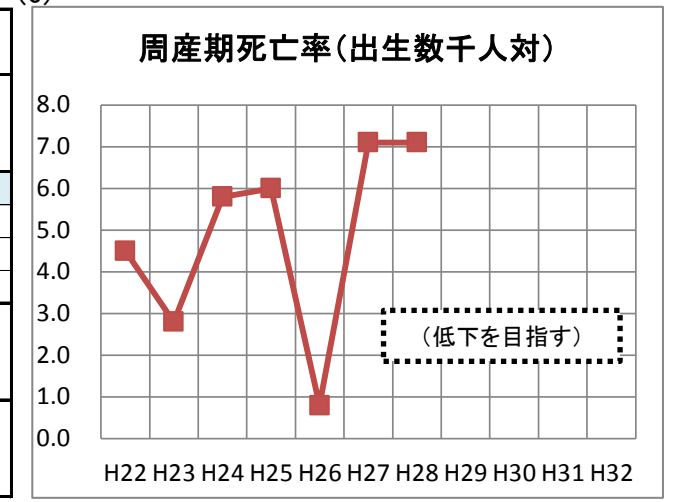


③指標No.、名称	10 乳児家庭全戸訪問事業実施市町村率										達成状況	A	
④指標の説明	児童福祉法による乳児家庭全戸訪問事業開始届があった管内市町村の比率(年度末時点)－事業開始届出												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	(100%=12市町村を目指す)												
目標													
実績													
達成状況	A A												
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成26年時点で全市町村から事業開始届の提出があり目標達成した。												
⑦今後の課題	-												



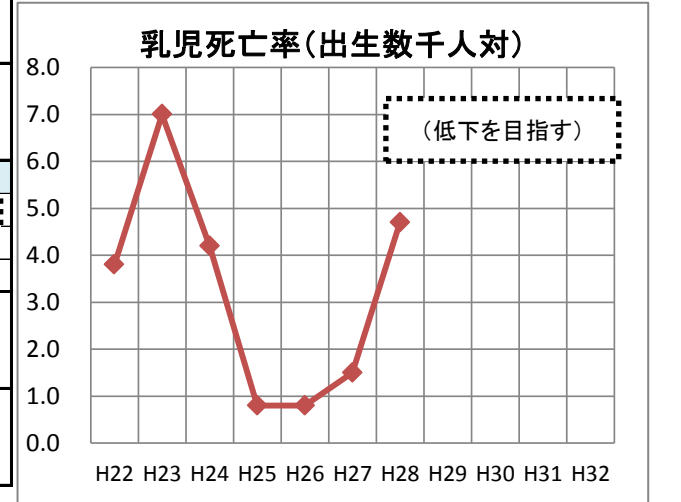
③指標No.、名称	11 周産期死亡率(出生数千人対)										達成状況	B	
④指標の説明	年間出生数千人に対する、妊娠満22週以降の死産及び生後7日未満までの早期新生児死亡の数の管内比率(年間)－人口動態統計												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	(低下を目指す)												
実績	4.5	2.8	5.8	6.0	0.8	7.1	7.1						
達成状況				B	A	B	B						
⑥達成状況の分析又は現状分析	各年間の変動が大きい状況にあるため、今後も経過を注視していく必要がある。 ※ 平成27、28年の数値については、把握可能な範囲のデータを元に当事務所で独自に算出した参考値												
⑦今後の課題	周産期医療機関の取組を支援するとともに、ネットワークを強化し、周産期の医療安全を守っていく必要がある。												

p25 (6)



③指標No.、名称	12 乳児死亡率(出生数千人対)										達成状況	B	
④指標の説明	年間出生数千人に対する、生後1年未満の死亡の数の管内比率(年間)－人口動態統計												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	(低下を目指す)												
実績	3.8	7.0	4.2	0.8	0.8	1.5	4.7						
達成状況				A	A	B	B						
⑥達成状況の分析又は現状分析	各年間の変動が大きい状況にあるため、今後も経過を注視していく必要がある。 ※ 平成27、28年の数値については、把握可能な範囲のデータを元に当事務所で独自に算出した参考値												
⑦今後の課題	今後の推移を注視していく必要がある。												

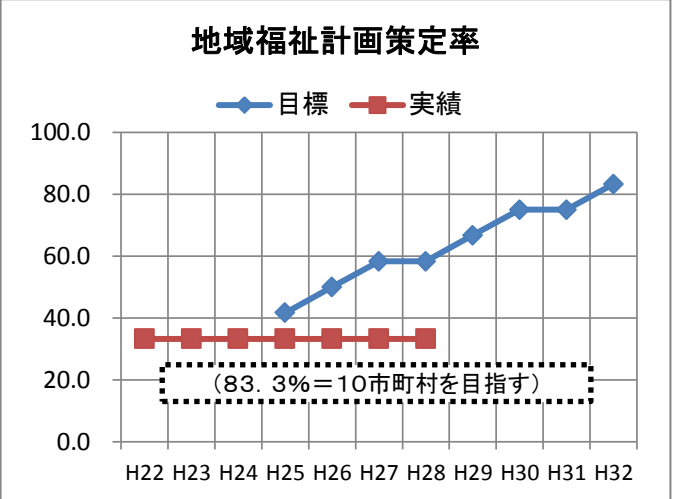
p25 (6)



①基本目標	5 ともにいきいき暮らせる福祉社会の推進
②施策	(1) 人格、人権、個性を尊重する社会づくりの推進 (2) 誰もが人と人とのつながりを感じることができる社会づくり推進 (3) 生活に希望を持ち、自らの能力を発揮できる社会づくりの推進 (4) 福祉サービス提供体制の整備(再掲) (5) 介護・福祉サービスの充実 (6) 地域生活移行や就労支援など障がい者の自立支援 (7) DV(ドメスティック・バイオレンス)、虐待防止及び被害者の保護・支援 (8) 生活支援の充実

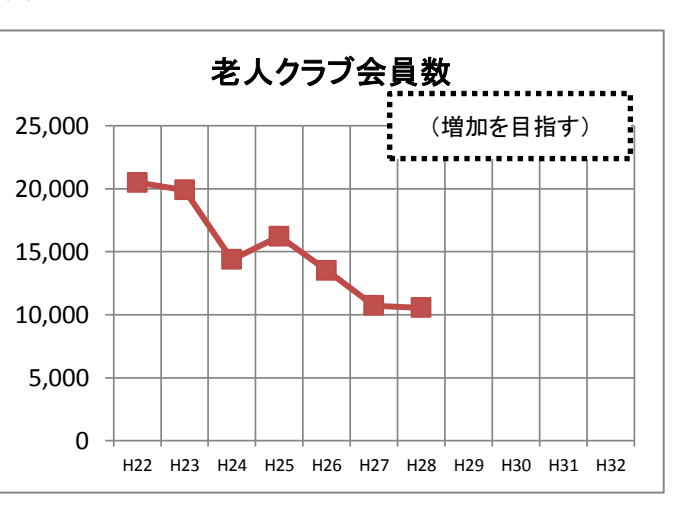
資料1 p27 (1)(2)

③指標No.、名称	1、2 地域福祉計画策定率	達成状況	B								
④指標の説明	管内市町村のうち、地域福祉計画を策定している市町村の比率(年度末時点)ー福島県社会福祉課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	/			41.7	50.0	58.3	58.3	66.7	75.0	75.0	83.3%(10市町村)
	/			33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	% (4市町村)	
⑥達成状況の分析又は現状分析	策定率は変わっていない。策定が進まないのは、震災対応等緊急度・優先度の高い業務があることや計画策定に係る人材等の確保が困難であることが主たる要因と考えられる。										
⑦今後の課題	未策定市町村への策定支援の手法等を検討する必要がある。										



p27 (3)

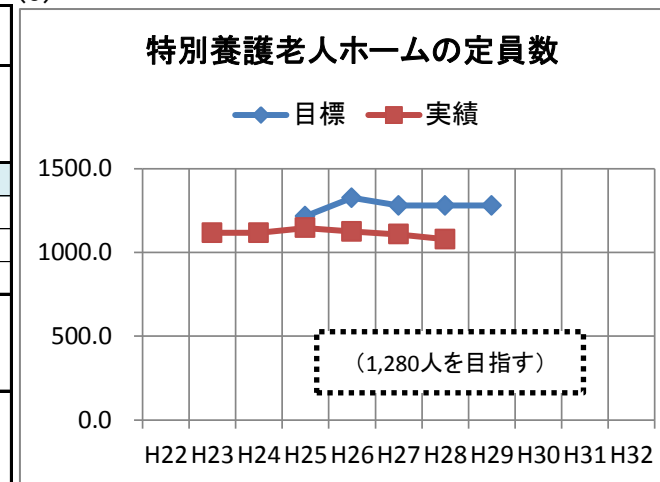
③指標No.、名称	3 老人クラブ会員数	達成状況	B								
④指標の説明	管内に所在地がある老人クラブの会員数(4月1日時点)ー福島県高齢福祉課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	/			(増加を目指す)							
	20,500	19,892	14,374	16,217	13,510	10,720	10,548	人			
⑥達成状況の分析又は現状分析	原発事故による避難者が多く、避難先での老人クラブ活動に制約が生じるため。										
⑦今後の課題	健康づくり、生きがいづくり等老人クラブの果たす役割を啓発し、会員の増加を促す必要がある。										





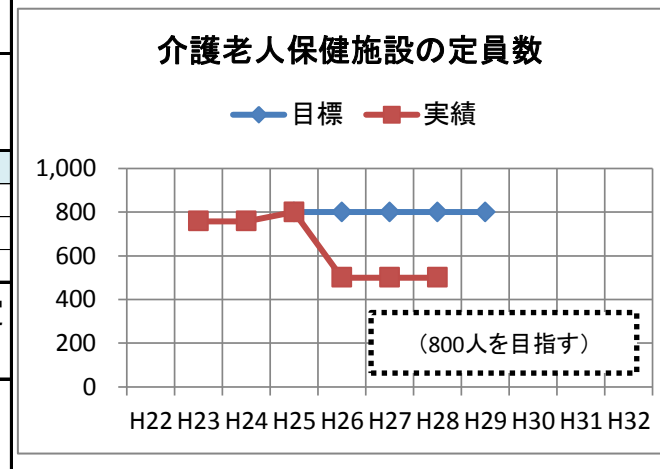
p28 (5)

③指標No.、名称	4 特別養護老人ホームの定員数										達成状況	B	
④指標の説明	第七次高齢者福祉計画、第六次福島県介護保険事業支援計画における特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設及び地域密着型介護老人福祉施設)の整備計画数(累計)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			1,216	1,326	1,280	1,280	1,280	人				
	/			1,146	1,124	1,108	1,078	人					
⑥達成状況の分析又は現状分析	原発事故による避難に伴い、介護職員の人材不足が顕著であり、増床等の施設整備が困難な状況となっている。												
⑦今後の課題	事業者側が円滑に施設整備への取組ができるよう、介護職員の人材確保・定着を図る必要がある。												



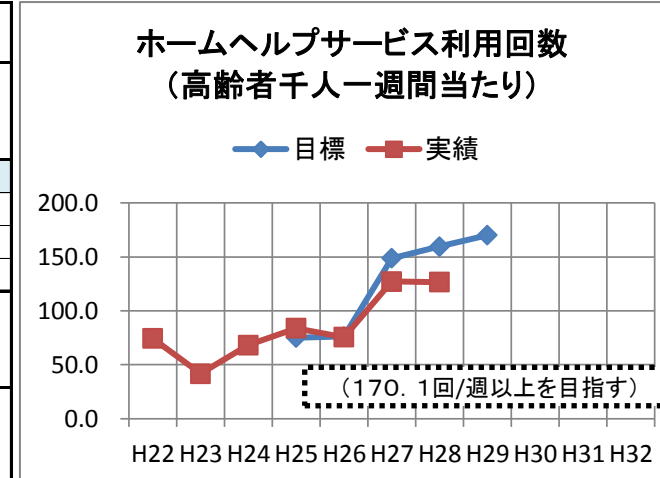
p28 (5)

③指標No.、名称	5 介護老人保健施設の定員数										達成状況	B	
④指標の説明	第七次高齢者福祉計画、第六次福島県介護保険事業支援計画における介護老人保健施設の整備計画数(累計)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			800	800	800	800	800	人				
	/			800	500	500	500	人					
⑥達成状況の分析又は現状分析	原発事故による避難に伴い、介護職員の人材不足が顕著であり、増床等の施設整備が困難な状況となっている。(H25からH26の定員数の減は、管内の休止施設で許可有効期限が満了したためである。)												
⑦今後の課題	事業者側が円滑に施設整備への取組ができるよう、介護職員の人材確保・定着を図る必要がある。												



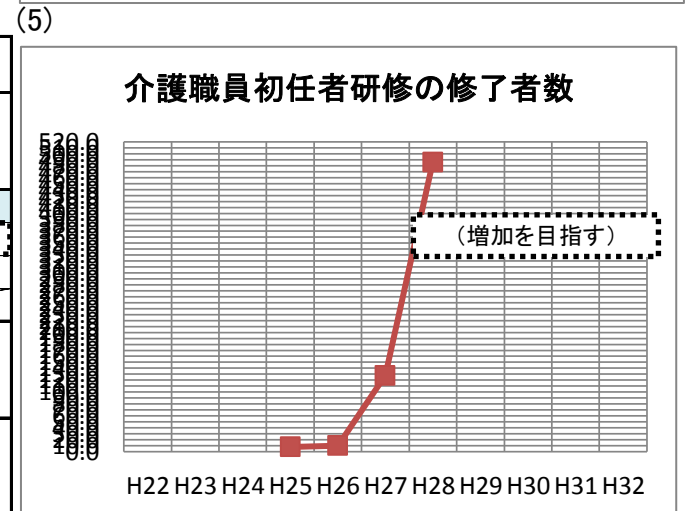
p28 (5)

③指標No.、名称	6 ホームヘルプサービス利用回数(高齢者千人一週間当たり)										達成状況	B	
④指標の説明	管内の訪問介護サービスの高齢者千人当たりの週間利用回数(各年度)－第七次高齢者福祉計画・第六次福島県介護保険事業支援計画												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	74.4	41.7	68.2	75.1	76.2	148.8	159.6	170.1	回/週以上				
	/			83.9	75.5	127.1	126.5	回/週					
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成23年度は震災の影響により実績が減少した。平成24年度以降は増加傾向にあったが、平成28年度は減少している。												
⑦今後の課題	引き続き、必要とする訪問介護サービスが提供できるようサービス基盤の整備や介護人材の確保を図る必要がある。												



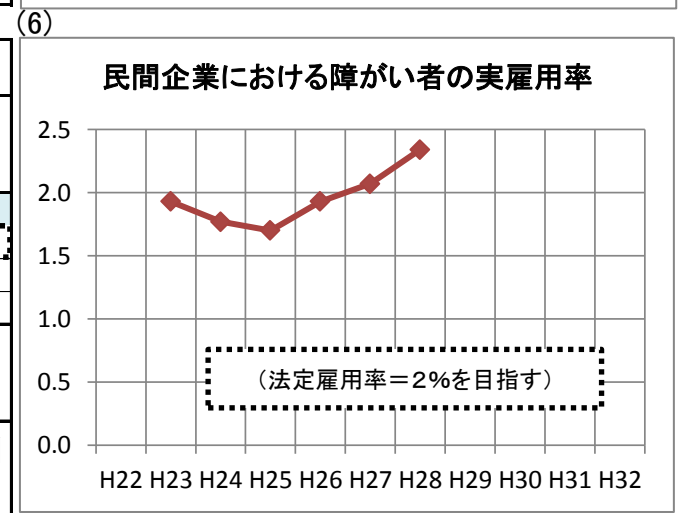
p28

③指標No.、名称	7 介護職員初任者研修の修了者数【再掲】							達成状況	モニタリング		
④指標の説明	管内の介護・福祉事業所から県に提出された介護職員初任者研修事業による研修修了者の数(年度合計)－福島県高齢福祉課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(増加を目指す)							
目標				8	10	128	486				
実績											
達成状況											
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成24年度まではホームヘルパー2級養成研修終了者数であったが、平成25年度から制度改正となり、「介護職員初任者研修」として実施している。制度変更により、施設での研修事業が増えたことに伴い、受講者数が増加した。										
⑦今後の課題	適切に研修を行い、修了者の増加とともに管内への定着化を図る必要がある。										



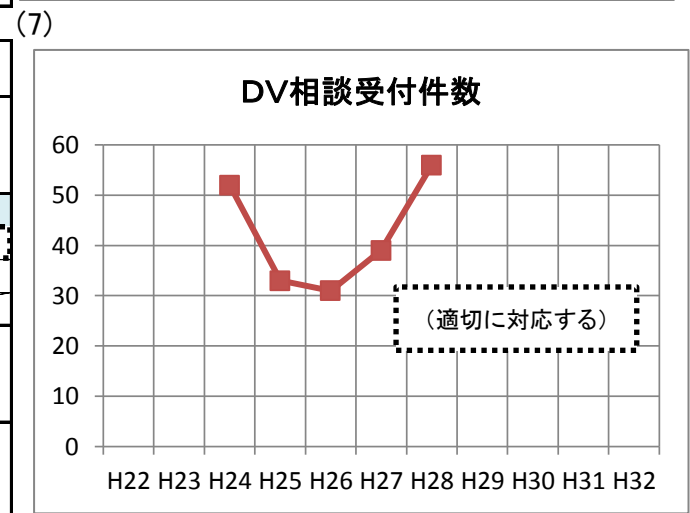
p28

③指標No.、名称	8 民間企業における障がい者の実雇用率							達成状況	A		
④指標の説明	管内の対象企業(従業員50人以上)での障がい者の雇用率(6月1日時点)－ハローワーク相双調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(法定雇用率を目指す。平成25年4月から2%)							
目標				1.70	1.93	2.07	2.34				
実績	1.93	1.77									
達成状況				B	B	A	A				
⑥達成状況の分析又は現状分析	きめ細やかな企業訪問やセミナーの開催等を通じ、企業側に障がい者雇用に関する理解が進んだことが雇用率の増加に繋がったと思われる。										
⑦今後の課題	法定雇用率未達成企業に対する働きかけを継続するとともに、法定雇用率達成企業に対する更なる雇用の働きかけ、雇用される側の障がい者のスキルアップ及び適正なマッチングを図っていく必要がある。										

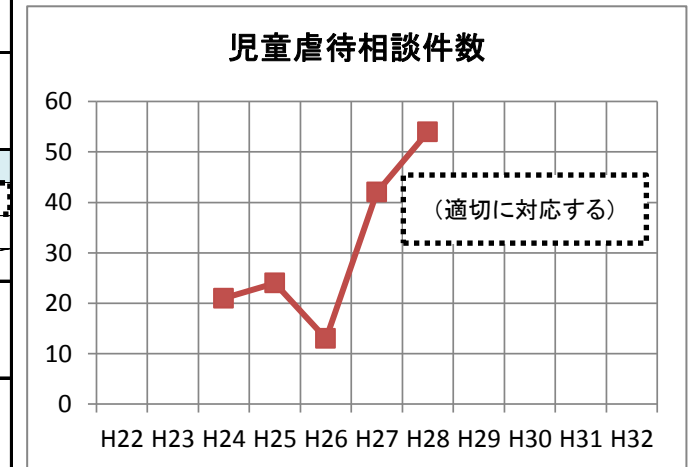


p29

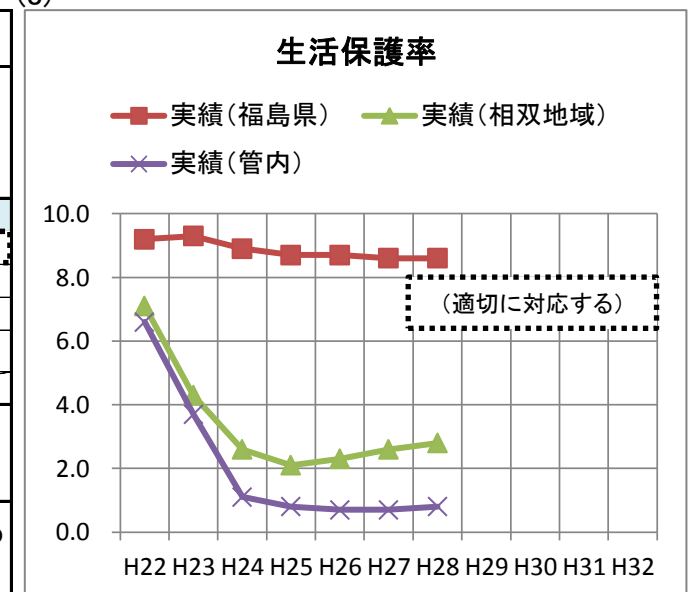
③指標No.、名称	9 DV相談受付件数							達成状況	モニタリング		
④指標の説明	当所(配偶者暴力相談支援センター)で、受け付けたDV相談件数(年度合計)－福島県児童家庭課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(適切に対応する)							
目標				33	31	39	56				
実績	52										
達成状況											
⑥達成状況の分析又は現状分析	震災や原発事故の影響により相談件数は減少していたが、ここ数年は避難指示区域の解除が進み増加傾向となっている。										
⑦今後の課題	広報啓発により相談窓口等の周知を図るほか、被害者の支援について関係機関と連携し適切な対応を行う必要がある。										



③指標No.、名称	10 児童虐待相談件数							達成状況	モニタリング		
④指標の説明	浜児童相談所南相馬相談室で受け付けた児童虐待相談件数(年度合計)－福祉行政報告例「児童虐待受付件数」										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(適切に対応する)							
実績			21	24	13	42	54	件			
達成状況											
⑥達成状況の分析又は現状分析	警察署から、いわゆる”面前DV”での心理的虐待(疑い)の通告件数が増加していることにより、相談件数が増加している。また、虐待を受けた児童のきょうだい同胞も心理的虐待を受けた児童として対応する(H25年8月より)ため、件数増の現状がある。										
⑦今後の課題	件数の増加については、相談受付体制の整備に伴う結果と言える側面もあり、十分な対応と判断できる。関係機関と共に児童虐待リスクのアセスメント精度を高めて、適宜適所での対応を行う力の向上を図る必要がある。										



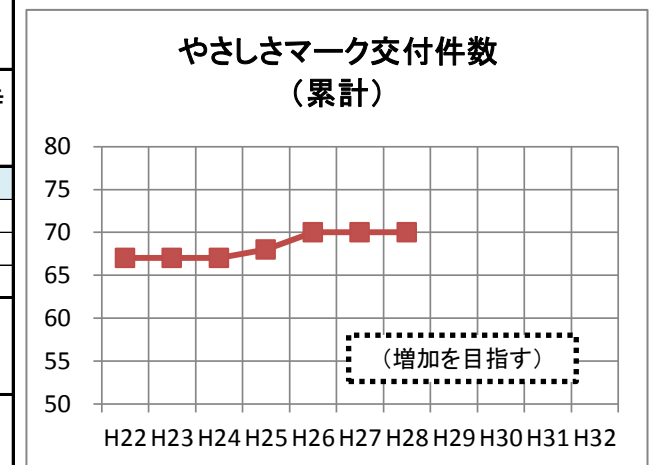
③指標No.、名称	11 生活保護率							達成状況	モニタリング		
④指標の説明	人口千人あたりの被保護人員の比率(年度の1か月平均)－福島県「生活保護速報」(福島県社会福祉課) ※年度の1か月平均: 毎月発表される福島県「生活保護速報」の保護率の平均値。 ※当所管内＝双葉郡、相馬郡										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(適切に対応する)							
実績(福島県)	9.2	9.3	8.9	8.7	8.7	8.6	8.6	%			
実績(相双地域)	7.1	4.3	2.6	2.1	2.3	2.6	2.8	%			
実績(管内)	6.6	3.7	1.1	0.8	0.7	0.7	0.8	%			
達成状況											
⑥達成状況の分析又は現状分析	相双管内では、震災により管外へ避難している住民の帰還が徐々に進み、保護率がやや上昇傾向にある。被保護者の内訳では、高齢化の進展により高齢世帯数が増加傾向にある。										
⑦今後の課題	今後、住民の帰還が進むことや賠償金の費消、医療・介護の被災者減免措置の終了などにより保護率が増加することが見込まれるため、そのような動きを注視し、関係機関と連携を図りながら適切に対応していく必要がある。										



①基本目標	6 誰もが安全で安心できる生活の確保
②施策	(1) 飲料水及び食品等の安全性の確保(再掲) (2) ユニバーサルデザインに配慮した人にやさしいまちづくりの推進 (3) 生活衛生水準の維持向上 (4) 安全な水の安定的な供給 (5) 生産から消費に至る食の安全・安心の確保 (6) 人と動物の調和ある共生 (7) 健康危機管理体制の強化 (8) 災害時の保健医療福祉体制の強化

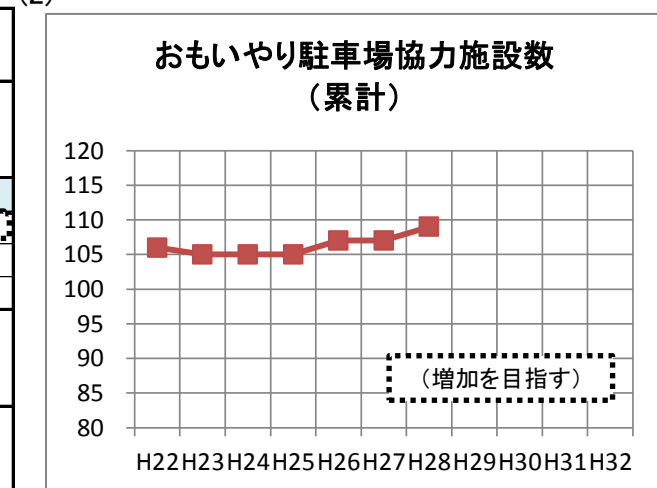
資料1 p31 (2)

③指標No.、名称	1 やさしさマーク交付数(累計)	達成状況	B								
④指標の説明	人にやさしいまちづくり条例の整備基準に適合する管内の施設に対し、県が交付した適合証(やさしさマーク)の累計(年度末時点)ー福島県高齢福祉課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	67	67	67	68	70	70	70	件			
⑥達成状況の分析又は現状分析	事業の周知及びPR不足により、交付件数が伸び悩んでいる。										
⑦今後の課題	様々な機会を捉えて、「やさしさマーク」の周知及びPRを行うとともに、市町村、商工団体等に対して、更なる普及・啓発を行う必要がある。										



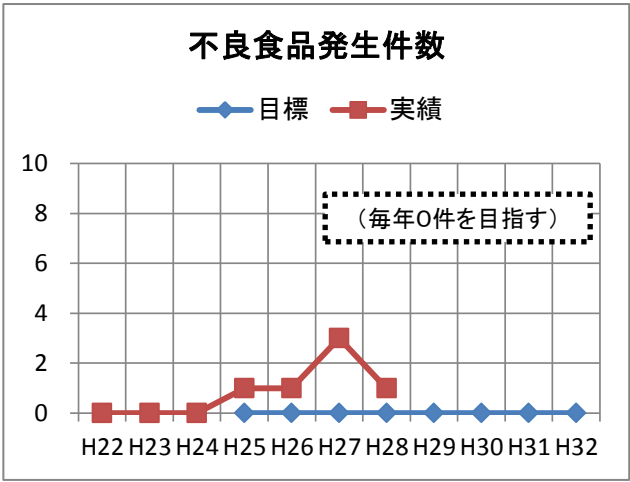
p31 (2)

③指標No.、名称	2 おもいやり駐車場協力施設数(累計)	達成状況	A								
④指標の説明	おもいやり駐車場利用制度について、県に協力申出書を提出した公益的施設の累計(年度末時点)ー福島県高齢福祉課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	106	105	105	105	107	107	件	109	件		
⑥達成状況の分析又は現状分析	公共施設においては、制度への理解や協力は得られているものの、民間施設へのPRが不足している。										
⑦今後の課題	制度への理解や協力が得られるよう、更なる普及・啓発を行う必要がある。										

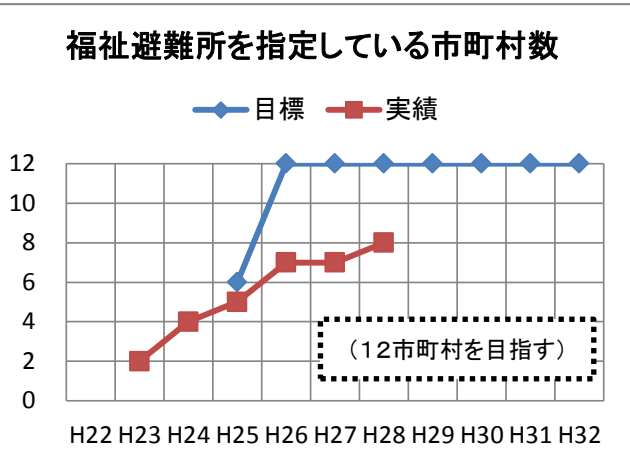




③指標No.、名称	3 不良食品発生件数										達成状況	B		
④指標の説明	管内で生産・販売等された食品で、食品衛生法に基づく規格基準等に違反する食品の発生件数(年度合計)－相双保健福祉事務所調べ													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/			0	0	0	0	0	0	0	0	0件		
	/			1	1	3	1							
	/			B	B	B	B							
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成28年度、食品衛生法上の不良食品の発生件数は1件であった(食品販売施設1件)。27年度と比較して、食品製造施設及び学校給食施設が減少した。													
⑦今後の課題	平成28年度の不良食品の内訳をみると、異物混入が1件であった。食品製造施設及び学校給食施設のほか、食品販売業者に対しても、立入時やホームページ等を活用して、的確な衛生管理体制をとり異物混入防止対策を行うよう周知する必要がある。なお、引き続き収去検査を実施するなど、違反品の流通防止に努める。													



③指標No.、名称	4 福祉避難所を指定している市町村数【再掲】										達成状況	B		
④指標の説明	管内市町村のうち、福祉避難所を指定している市町村数(年度末時点)－福島県保健福祉総務課調べ													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/			6	12	12	12	12	12	12	12	12市町村		
	/			5	7	7	8							
	/			B	B	B	B							
⑥達成状況の分析又は現状分析	28年度は葛尾村で指定がなされた。未指定は避難4町となっている。													
⑦今後の課題	未指定市町村の意向に応じて、引き続き、情報提供等、指定に向けた支援を行っていく必要がある。													



③指標No.、名称	【参考】 福祉避難所指定数【再掲】										達成状況	参考		
④指標の説明	管内市町村が指定した福祉避難所の数(年度末時点)－福島県保健福祉総務課調べ													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/			..... (増加をめざす) .....										
	/			6	46	46	48					か所		
	/													
⑥達成状況の分析又は現状分析	2施設増加した(追加1、新規1)。													
⑦今後の課題	未指定市町村については、引き続き、情報提供等指定に向けた支援を行っていく。指定済町村については、対象者数等に応じた適切な数の指定がなされるよう促していく必要がある。													

